



# 私の記録、家族の記憶

## ケアリーヴァーと社会的養護のこれから

2022年度・日本社会福祉学会  
学会賞・奨励賞(単著部門)受賞

阿久津美紀 著

[2021年8月 大空社出版発行]

### なぜ〈記録〉が「社会的養護」にとって 重要なキー概念なのか？

史資料の記録・保存・利活用を研究する〈アーカイブズ学〉の知見で見えてくるもの、イギリス、オーストラリア、韓国と比較した日本の現状は――

〈記録〉にアクセスする側(当事者)と〈記録〉作成・管理に携わる側、双方にとって「公正・公平」な環境をいかに構築するか、施策はどうあるべきか……。

(主要目次)

まえがき：社会的養護の記録との出会い

#### 序章 社会的養護に関する記録をとりまく課題

世界と日本の研究動向と状況 / ケアリーヴァーにとっての社会的養護における記録 / 社会的養護の記録とは

#### 第1章 日本の社会的養護に関する記録の管理：児童相談所と国立・民間の児童福祉施設を事例に

児童相談所で作成される児童福祉施設関係記録 / 国立児童自立支援施設(国立武蔵野学院) / 民間の児童福祉施設(児童養護施設) / 記録の中の個人情報をめぐる諸課題：記録の保存年限の延長と利活用

#### 第2章 家族の記憶とケアリーヴァーの記録：イギリス、オーストラリアにおける実践から

ケア記録への注目と記録の役割 / イギリス(ガスキン裁判 / クリアマーク CLEARmark の導入) / オーストラリア(Who Am I? プロジェクトとレコードコンティニュームモデルなど) \*当事者団体の活動からの学びと日本のこれから

#### 第3章 イギリス(スコットランド)における歴史的な虐待調査と組織の記録管理：2011年公文書(スコットランド)法に与えた影響

児童虐待と記録に関する調査と提言(ショーレポート) / 新たな公文書法とレコードマネジメントプラン \*児童虐待調査から見た組織の記録管理の課題

#### 第4章 オーストラリアにおける性的虐待調査の展開と守られるべき子どもの権利：レコードキーピングが児童虐待の抑止力になるのはなぜなのか

王立委員会による調査 / オーストラリアアーキビスト協会の取り組み / 子どもの権利のためのナショナルサミットに向けて \*王立委員会の調査が記録の専門家たちに与えた影響

#### 第5章 日本の新たな社会的養護政策の展開と記録管理：韓国の養子縁組に関する記録管理政策との比較を手掛かりとして

養子縁組に関する記録管理と当事者のアクセス \*記録管理体制を増加する特別養子縁組にどう備えていくのか

#### 第6章 社会的養護におけるアーキビストの専門職としての役割：公平で、公正な利用者の支援とは何か

ICAのアーカイブズへのアクセスの原則とガイダンス / 現場実践における障壁とジレンマ / 専門家、当事者、施設の様々な観点から見たアクセス / アーキビストの専門職としての役割 \*社会的弱者に関する記録とそれに関わる専門職

#### 終章 課題と展望

1. ケアリーヴァーのための記録への安定したアクセスを目指して(社会的養護における記録と記録管理の役割 / 個人情報の開示と公開(ケアリーヴァーと第三者の間) / 専門職が果たすべき役割(ライフストーリーワーク / 記録に関わる専門職の重要性)
2. 社会的養護における記録とアーキビストの役割(記録管理の年限 / ケアリーヴァーが記録にアクセスできる年齢と知る内容 / 専門家どうしの連携 / 記録管理システムの構築・整備へ)

参考文献 索引



挿画・佐藤仁美「ただひかりさす」

A5判・上製・238頁・カバー

978-4-908926-20-4

定価2,970円

(本体2,700円+税10%)

【著者】(あくつ・みき) 目白大学人間学部児童教育学科助教(本書刊行時)、学習院大学非常勤講師。東京学芸大学卒業、学習院大学大学院人文科学研究科博士前期課程修了、同博士後期課程単位修得退学。博士(アーカイブズ学)。専門：アーカイブズ学、記録管理、資料保存、社会的養護など。

この本は、保護者のいない児童、被虐待児など家庭環境上、養護を必要とする児童を公的な責任で養育する、「社会的養護」に関する記録や記録管理システムについて取り上げている。同時に、この社会的養護で養育された経験をもつケアリーヴァー (care leaver) と呼ばれる当事者たちが記録を探し、その記録へアクセスするために乗り越えるべき課題及びその支援の方法についても言及していく。

## 1 世界と日本の研究動向と状況

### イギリス

ケアリーヴァーの記録へのアクセスを取り上げた研究は、イギリスやオーストラリアなどのいくつかの国々では、既にアーカイブズ学だけでなく社会福祉学、社会学等の様々な分野を巻き込んだ議論が展開されている<sup>1</sup>。イギリスでは、1980年代後半からケアリーヴァーの記録へのアクセスが顕著になり、1990年代後半になると、ジル・ピュー G. Pugh らが、記録へのアクセスを行った児童養護施設出身者に対する調査を行った<sup>2</sup>。2000年代に入ると、ジム・ゴダード J. Goddard や Feast らは、ケアリーヴァーからの記録へのアクセスのように対応していたのか、電話調査の結果から、2010年以降には、ディレック・カートン D. Carton による記録へのアクセスを、社会福祉学の立場から虐待保護法の課題について論じ<sup>4</sup>、さらにゴダード F. Z. Duncalf は、「子どものケア記録へのアクセスとオーストラリアのポリシーと実践の比較分析」において、ケアリーヴァーの記録へのアクセスが注目されるオース

\* 本文見本 (縮小)

### キーワード

アイデンティティ、プライバシー、records、児童相談所、児童福祉施設、ケア記録、レコードコンテンツモデル、スコットランド、児童虐待、レジデンシャルスクール、チルドレンズホーム、アーキビスト、レコードマネジメントプラン、性的虐待、子どもの権利、養子縁組、国内養子・国際養子、アクセス支援、国際社会事業団ISSJ、特別養子縁組、ICA、アーカイブズへのアクセスに関する原則、母子保護施設レーベンスボルン、社会的弱者、子どもの権利ノート・育ちアルバム、個人情報開示公開、ライフストーリーワーク、記録管理年限、記録アクセス年齢・内容、記録管理システム構築・整備

## ケアリーヴァー care leaver

= 社会的養護で養育された  
経験をもつ当事者

ケアリーヴァー care leaver のための“記録 records”への安定したアクセスを目指して、現状の課題を明らかにし、将来へ向けての提言を示す。社会福祉・社会事業分野とアーカイブズ学との有機的連繋、初の成果。

### 1 世界と日本の研究動向と状況

3

研究を行った<sup>5</sup>。

### オーストラリア

オーストラリアでは、先住民の隔離政策やイギリスからの児童移民などの国の政策により、多くの子どもが社会的養護の施設で生活することを余儀なくされた背景がある。そのため、ケアリーヴァーにとっての記録の重要性は、国が主導した調査報告書の中で1990年代後半から指摘されているが<sup>6</sup>、それらがよりアーカイブズ学の分野で議論されるようになっ

- 1 例えば、イギリスでは、社会学の研究者であるジム・ゴダードらが、2004年と2005年に段階的に量的調査(アンケート)と質的調査(インタビュー)を組み合わせた調査を行った。また、オーストラリアでは、社会福祉の研究者であるスエレン・マレー等が、ケアリーヴァーを対象に個人記録へのアクセスについて質的調査を行った。Goddard, Jim., et al. (2007). Memories, childhood and professional power: Accessing the care files of former children in care.; Murray, Suellen., & Humphreys, Cathy. (2014). My life's been a total disaster but I feel privileged: Care-leavers' access to personal records and their implications for social work.
- 2 1990年代に入ると、慈善団体のバーナードス Barnardo's で施設の退所後のアフターケア支援をしていた職員ジル・ピューは、施設で生活していたケアリーヴァー12人に対して、質的調査を実施した。1855年から1970年に実施されたバーナードス調査では、記録にアクセスしようとした理由やその過程、また、情報を得た時の衝撃などについてインタビュー調査が行われた。Pugh, Gill. (1999). *Unlocking the past: The impact of access to Barnardo's Childcare Records*.
- 3 Goddard, Jim., et al. (2008). A Childhood on paper: Managing access to child-care file by post-care adults.
- 4 Kirton Derek., et al. (2011). The Use of deiscreation in 'Cinderella' service: Data protection and access to child-care file for post-care adults.
- 5 Goddard, Jim., et al. (2013). Access to Child Care Records: A Comparative Analysis of UK and Australian Policy and Practice.
- 6 1997年に作成された社会的養護で養育された先住民に関する調査報告書 Australian Human Rights Commission. (1997). *Bringing Them Home: Report of the National Inquiry into the Separation of Aboriginal and Torres Strait Islander Children from their Families (Bringing Them Home report)*, 2001年に作成された児童移民に関する報告書 Parliament of Australia. (2001). *Lost Innocents: Righting the Record-report on Child Migration (Lost Innocents report)*, 2004年に刊行された社会的養護で養育された「忘れられたオーストラリア人」と称される人々に関する調査報告書 Senate Community

# 少年行刑の歴史からみる 知的障害者福祉の萌芽

末松 恵 著

明治後期～昭和初期

[2022年3月 大空社出版発行]

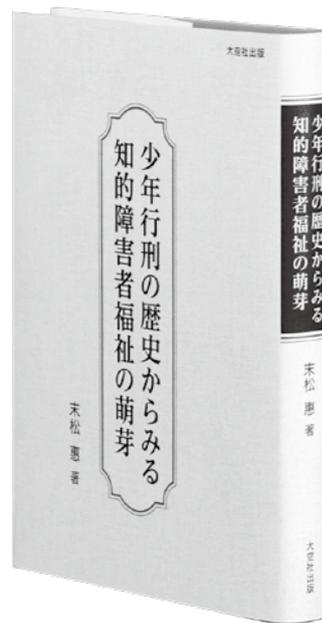
浦和監獄川越・熊谷分監 / 八王子少年刑務所

少年監獄・刑務所で認識された障害者に対する  
処遇方法の実態を詳細に描き  
更生保護施策における新たな支援枠組みを  
福祉と司法分野との連携・協同  
という今日的課題から捉え直す  
独創的ユニークな研究。

近年、社会福祉専門職の職域は、従来の福祉分野にとどまらず、労働・教育・司法・保健医療等へと拡大されつつある。そのなかでもとりわけ、福祉分野と司法分野との連携・協同という古く新しい課題が注目され、更生保護施策における新たな支援枠組みに関する検討がすすめられている。「古くて新しい」というのは、非行や犯罪に関わった人々の社会復帰に向けた援助は明治大正期にまで遡るのであり、これまでに、出獄人保護事業や感化事業など司法領域における福祉的な対応が模索されてきたということである。また、近代初頭の少年行刑・感化矯正のもとでなされた知的障害者処遇には、処罰にとどまらない保護的・教育的な視点がみられ、ここに知的障害者福祉の萌芽の状況をとらえることができる。福祉と司法の連携・協同が模索される現在、福祉的な視点と司法的な視点とが未分化であった近代初頭の知的障害者処遇からは、いかなる示唆が得られるであろうか。

本研究では浦和監獄川越分監を取り上げる。その理由は、川越分監では、「低能者研究」「低能者特別教授」等、知的障害者に対する処遇がいち早く実施され、ある一定の組織だったアプローチが展開されていたためである。このことは、川越分監が我が国最初の幼年者対象の監獄として設置され、監獄改良の主眼であった懲治人教育が実験的におしすすめられていたことと深く関連している。またそうした位置づけゆえに、川越分監は「先進川越」として、全国の他の少年監のモデルともされていた。これらのことから、浦和監獄川越分監が知的障害者処遇の嚆矢として、それ以降の少年行刑にも一定の影響をもたらしたことが予想される。そうした意味から、川越分監の諸実践に焦点をあて、知的障害者処遇の起点とその具体的なありようを把握していくことは知的障害者福祉の歴史研究において不可欠な作業であると考えられる。

## 福祉と司法との連携・協同を目指す視点で（「序章」抄）



A5判・上製・370頁・カバー  
978-4-86688-234-5  
定価4,730円  
(本体4,300円+税10%)

【著者】(すえまつ・めぐみ)

1960年生まれ。1993年から2013年まで社会福祉法人はぐるまの会生活支援員として勤務。現在、社会福祉法人はぐるまの会評議員、はぐるま農園サポーターズに所属。日本女子大学学術研究員、社会福祉学博士。

### キーワード

知的障害者福祉 障害児教育 児童福祉 社会福祉 更生保護・感化教育 監獄(幼年監獄)・懲治場  
精神病者 精神医学 特別学級・低能児学級・治療教育 処遇の実際 処遇方針 職員体制

## ◆主要目次とキーワード

## 【序章】知的障害者福祉の歴史と少年行刑

## 第一節 少年監獄における知的障害者処遇の形成過程

1. 浦和監獄川越分監の実践 2. 知的障害(者)のカテゴリー形成 3. 犯罪や非行少年中に存在した知的障害者への着目 4. 行刑分野における知的障害者処遇

## 第二節 少年行刑の展開に見る知的障害者福祉の萌芽

1. 先行研究 2. 社会福祉の歴史研究からの示唆(一番ヶ瀬康子/更生保護事業・感化教育/福祉実践の両義性の探求)  
第三節 研究対象の主な史資料(年次統計書『監獄協会雑誌』通史文献)

## 【第一章】近代初頭の監獄における精神病患者の存在

## 第一節 明治初頭における監獄への精神病患者の収容(瘋癲人 瘖啞者 監獄別房 懲治場)

## 第二節 精神病患者処遇の経過

1. 精神病患者に対する認識の契機 2. 「身体保全」言説の登場と『獄務概則』の規程 3. 精神病患者処遇に関する議論と精神病監の設置(明治31年典獄諮問会/巢鴨監獄)

## 第三節 精神病患者における知的障害者の概念的な分離(国家医学会「低脳者」概念の登場)

## 第四節 幼年監獄の建設と教育処遇の推進(幼年囚と処遇の実態 懲治場における「強制教育」の推進)

## 【第二章】川越分監・熊谷分監懲治場における幼年者処遇と知的障害者

〈第1期〉1902(明治35)～1908(明治41)

## 第一節 浦和監獄川越分監懲治場

収容児童の捉え方、懲治場の位置づけ、国家の役割、精神医学・心理学・生理学への期待

## 第二節 浦和監獄川越分監・熊谷分監

1. 処遇の実際(『保護児童ノ研究』編纂、収容児童の個性の把握・観察の視点) 2. 川越分監の「薄弱ナル児童」(学校医・教師による記述と対応) 3. 熊谷分監の補助級(低能組)の取りくみ(「元良氏視覚及び聴覚操練器」)

## 第三節 精神病医学者による熊谷分監収容者の調査(「不良少年調査報告」三宅鉦一)

## 第四節 懲治場における知的障害者処遇の特徴

## 【第三章】川越分監特設少年監における少年処遇と知的障害者

〈第2期〉1909(明治42)～1921(大正10)

## 第一節 監獄法施行下における少年行刑の新枠組みと知的障害者施策をめぐる情勢

1. 刑法の改正と監獄法の制定 2. 監獄法における障害者処遇にかかわる条項 3. 明治40年代における知的障害者施策(障害児調査、特別学級の設置、治療教育の実践、「低能児学級」の設置) 4. 監獄事業における「低能者」に関する言説

## 第二節 少年処遇の概要(年次統計書『少年受刑者ノ統計及処遇一斑』の編纂と知的障害者の把握)

## 第三節 処遇の経過・展開(障害者の数と概念規定の変化「低能児ノ取扱」「低能児観察表」「低能者特別教授」)

第四節 「少年受刑者ニ関スル特殊研究」における低能者研究(個別的/環境的要素の把握「低能少年犯罪者教育ノ方針」「訓育ノ標準」)

## 第五節 川越分監特設少年監における知的障害者処遇の特徴

## 【第四章】川越少年刑務所における少年処遇と知的障害者

〈第3期〉1922(大正11)～1925(大正14)

## 第一節 1922(大正11)年少年法の制定(職員体制 少年教化の実際)

## 第二節 知的障害者処遇(知的障害者の数「心神耗弱者」の八王子支所への分離)

第三節 監獄事業における知的障害者施策に関する言説と知的障害者処遇の位置づけ(監獄医・専門的対応の要請 優生思想をめぐる議論 選別的処遇の要請)

## 第四節 川越少年刑務所における知的障害者処遇に関する考察

## 【第五章】八王子少年刑務所における知的障害者処遇

〈第4期〉1926(大正15昭和元)～1929(昭和4)

## 第一節 八王子少年刑務所の概要(「特殊少年刑務所」施設設備)

## 第二節 処遇の概要

統計資料(家庭の生計程度、家庭を離れた年齢、実父母を失った事由・時期、教育の状況) 処遇方針(司法省行刑局「心神耗弱者ノ取扱ニ関スル通牒」/「収容者処遇ノ準則」、分類基準「三ヶ個性」、保健技師による医学的検査)

処遇の実際(作業、教育、運動・体操及び精神慰安、放免後の保護)

## 第三節 知的障害者の身体・精神の変化(収容時/後の身体・精神の変化:智能点数、精神状態)

## 第四節 八王子少年刑務所における知的障害者処遇に関する考察

## 【終章】少年行刑の歴史における知的障害者福祉の萌芽(まとめ)

## 1. 川越分監懲治場から八王子少年刑務所に至る知的障害者処遇の展開

## 2. 処遇上に見出された福祉的な価値理念

「国民トシテ」「社会ニ立ツ」者としての知的障害者「個人」の認識と把握:「人格ヲ認メ遣ル」という指針 障害による困難状況の「社会」との関連認識 保護と養育という考え方

## 3. 少年監獄における知的障害者処遇の社会的意味

「国民統合」政策下における知的障害者処遇:「良民育成」における顕在化 少年行刑における知的障害者の位置づけ:「社会順応」の意味 知的障害者処遇における排除と統合の両義性 医師による分類と定義:「科学ノ進歩」下における知的障害者の発見 近代社会の形成における対象化・同一化過程

# 京都から連なる教育遺産 (はじめに「抄」)

本書は、戦前・戦中の京都における「特別学級」の成立・展開過程に関して重要な位置をもったいくつかの学級の実態とその担い手たちの実践について、史料をたどって一定のまとめを行ったものであり、あわせて展開過程の中心にあった京都市特別児童教育研究会の関連史料を編んだものである。(……)

京都の「特別学級」はそれぞれの学校での多様性はあるが、継続的に実践が続けられた学級が多い。京都市特別児童教育研究会は「特別学級を支えるもの」となったが、その研究会を担った、あるいはそこに集った教師たちの「特別学級」の実践は貴重な教育遺産である。

(……)京都市特別児童教育研究会を担った斎藤千栄治は「養護」の概念を重視して、「特別児童」について実態を明らかにしていく活動を行った。そこには、貧困階層、通常の階層を問わず子どもたちの機能障害のある子どもへの着目があった。通常の学校において、知的障害のある子どもは存在してはいたし、京都市

特別児童教育研究会では、どの学校でも課題となる、知的障害のある子どもや成績不良児への取り組みを追求していた。

同時に、継続的に実践を積み重ねていった「特別学級」では、相対的に障害の重い子どももいるところもあった。戦前・戦中を通して白川学園なども交流があった。障害のある子どもたちの学習のみならず生活の探求という点でも実践的な蓄積があった。戦前・戦中の京都における「特別学級」の存在があつて、戦後京都市の特別学級の復興と計画的設置もいち早く行われ、そして比較的障害の重い子どもを開校当初から受けとめていった実践の展開などへも引き継がれている。

また、京都市特別児童教育研究会で活躍した田村一二や池田太郎が、糸賀一雄の行政手腕によって、戦中から滋賀における虚弱児教育、知的障害児教育へと実践の場を開拓していったことも重要である。そして、糸賀・田村・池田によって戦後近江学園の設立にいたる。これら、戦前・戦中・戦後における障害児教育を創っていった人びとの足取り、そしてその苦闘と取り組みを跡づけることは、戦前・戦中から戦後にいたる障害児教育史の水路を確認するする作業でもあろう。

【著者】(たまむら・くにひこ)

京都女子大学教授、奈良教育大学名誉教授。著書に『障害児の発達理解と教育指導：「重症心身障害」から「軽度発達障害」まで』（三学出版2005年）、『オーストラリアにおける「学習困難」への教育的アプローチ』（共著、文理閣2006年）など。

## 第I部 京都における「特別学級」の形成と展開

### 序章 史料から浮かび上がる歴史

京都の先駆性・障害児者の教育・保護事業／「特別学級」研究史と京都の「特別学級」／京都における「特別学級」の設置とその研究（設置と模索・展開の歴史）／京都市特別児童教育研究会

### 第1章 京都における「特別学級」設置前史(明治期)

脇田良吉の淳風小学校・「特殊教育」提案・白川学園

### 第2章 大正・デモクラシー期における「特殊児童調」と初めての「特別学級」設置

藤井高一郎と斎藤千栄治

### 第3章 大正・昭和初期における「特別学級」実践の模索

京都市崇仁尋常小学校と有馬良治の模索

### 第4章 京都府師範学校「停滞児学級」と『停滞児教育研究』

上原昭平と渡邊昌司

### 第5章 斎藤千栄治の提言と京都市における「異常児」施策の発展

『学齢児童に関する調査』『児童保護に関する調査』

### 第6章 崇仁小学校における能力別学級編制と「特別学級」の再興

高宮文雄と京都市特別児童教育研究会

### 第7章 京都市立養正尋常高等小学校「特別学級」と田中寿賀男

滋野尋常小学校「第二部学級」と実践の発展

### 第8章 滋野尋常小学校「第二部学級」と実践の発展

田村一二の「特別学級」実践の展開

【図表】京都市における「特別学級」の設置と担任の推移／戦前戦中における京都市「特別学級」関連年表／「京都市特殊児童調」による「特殊児童」数と対応する「特殊教育機関」構想／養正小学校「特別学級」編入児童の概要（一九二九～一九三五年度）ほか収録

## 第II部 史料編

### 京都における「特別学級」の展開と実践

#### A. 京都市特別児童教育研究会と「特別学級」の展開

147-366

A1 『異常児教育』創刊号 1933(昭和8)年7月

A2 『異常児教育』第2号 1935(昭和10)年6月

A3 『異常児教育』第3号 1937(昭和12)年4月

A4 \*斎藤千栄治「異常児教育の体験・精神薄弱児の教育」(『少年の保護』79、朝日新聞社会事業部 1937(昭和12)年6月)

A5 『異常児教育』第4号 1939(昭和14)年4月

A6 『勿忘草』1 1942(昭和17)年3月

A7 \*三谷隼雄「京都市に於ける精神薄弱児を対象とせる養護学級児童検診報告第一報」1943(昭和18)年5月

A8 『勿忘草』2 1943(昭和18)年9月

#### B. 京都市滋野尋常小学校「特別学級」の実践 367-629

B1 『精神薄弱児の作業を主としたる教育』1929(昭和4)年2月

B2 田村一二「精神薄弱児(劣等児低能児)の図画」1934(昭和9)年9月

B3 『精神薄弱児の生活指導』1936(昭和11)年11月

B4 田村一二「缺は切れる」(京都市教育部署務課・京都市役所)1941(昭和16)年5月

B5 \*田村一二氏講演「教育精神」(『滋賀教育』56、滋賀県教育会)1942(昭和17)年10月

### 第II部 史料編 ◆貴重・龐大

史料13点(初の複製9点を含む)  
収録原本頁数約870頁  
A:約380頁 B:約490頁

\*は、本書で初めて複製収録

# 京都「特別学級」成立史研究

## 史料と論究

玉村公二彦著

くにひこ

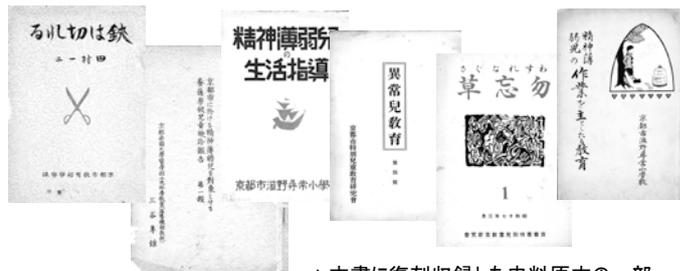
### 「特別学級」

その発想の端緒は？  
設置と運営を担った人々の  
模索と苦闘の跡を語る  
稀有な〈実践〉史料を一挙復刻

### 初の京都「特別学級」実践概史

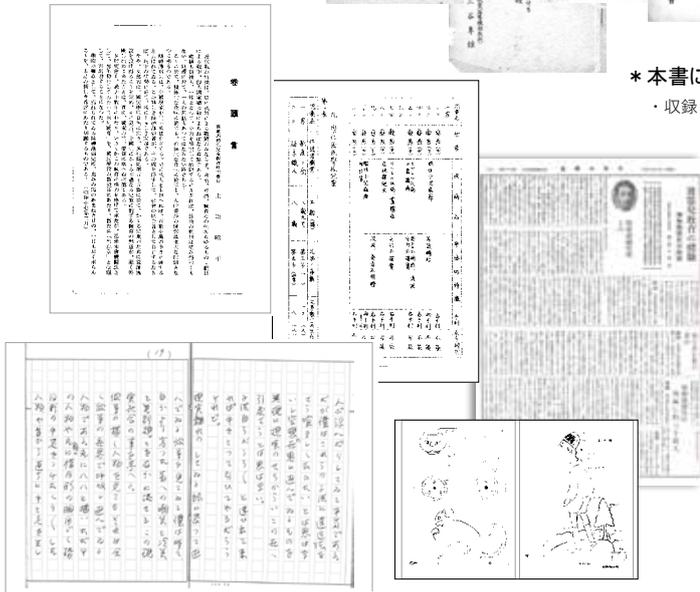
明治期から  
障害児者の教育・保護事業に  
先駆的に取り組んでいた地、京都——  
戦前戦中期に「特別学級」の設置と実践  
を旺盛に展開したのも京都だった。  
小学校・児童の「特別学級」実践と模索  
の跡、現場を担った教師や京都市関係  
者の残した稀少で貴重な史料を一堂に  
会し、読み込むことでその現代的意義  
を確認し、後世への遺産として残す。

1929-1943



\*本書に復刻収録した史料原本の一部  
・収録はモノクロ・縮小です。

多様な形態で残された  
実践の様子を伝える貴重史料



\*頁見本はホームページの本書案内に掲載しています。

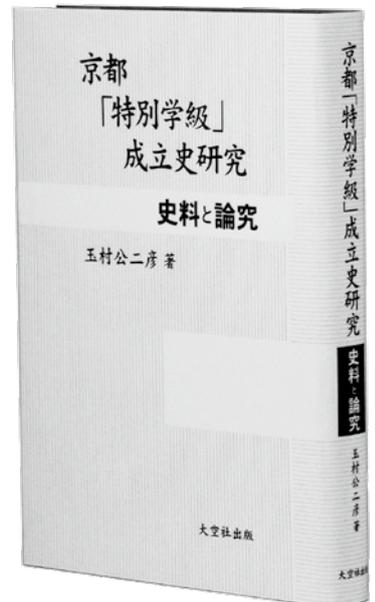
謄写版刷・手書き原稿・新聞雑誌記事  
論説・検査・教材・記録…

\*本書に登場する主な教育実践者・団体・機関・学校

- 脇田良吉
- 藤井高一郎
- 斎藤千栄治
- 有馬良治
- 上原昭平
- 渡邊昌司
- 池田太郎
- 高宮文雄
- 伊東茂光
- 中嶋源三郎
- 田中寿賀男
- 元山清七
- 田村一二
- 京都市特別児童教育研究会
- 淳風小学校
- 白川学園
- 七条小学校
- 桃園小学校
- 崇仁小学校
- 京都府師範学校附属小学校
- 京都市社会課
- 京都市児童院
- 養正小学校
- 滋野小学校

B5判(182×257<sup>ミ</sup>)  
上製・640頁・カバー  
ISBN978-4-908926-53-2

定価 18,800円  
(本体17,091円+税10%)



[2021年2月 大空社出版発行]



# 近代社会教育における権田保之助研究

## 娯楽論を中心として

坂内夏子 著

[2019年8月 大空社出版発行]

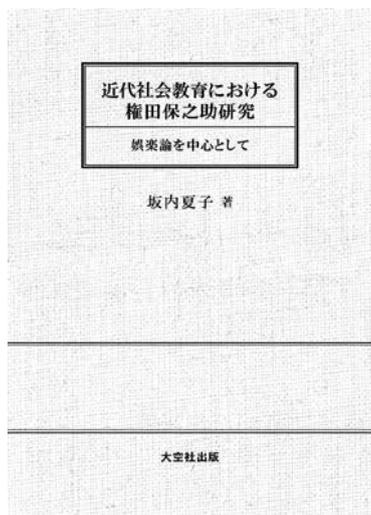
### 「民衆娯楽研究の第一人者、 権田保之助」を

[ごんだ・やすのすけ 1887-1951]

### 「社会教育」の観点から読み直す。

大原社会問題研究所所員、文部省・厚生省  
専門委員嘱託として、関東大震災を挟み大  
正から昭和戦中期、数々の娯楽調査・社会  
調査（家計、労働、農村、学生、映画、月島・  
浅草等々）に関わり、今日に残る実証的研究・  
記録を残した。

- ・娯楽は本来「民衆主体」の生活創造として  
ある。
- ・「民衆娯楽」は権力が政策として方向付け  
るものではない。
- ・(震災からの)復興のバロメーターを民衆の  
娯楽要求に見る。



A5判・並製・206頁・カバー  
978-4-908926-63-1  
定価3,300円  
(本体3,000円+税10%)

「キーワード」社会教育 社会調査 民衆大衆 労働(者) 社会主義  
プロレタリアート・インテリゲンチヤ 都市と地方・農村 職業  
工場 産業世相 娯楽・余暇・慰安 レクリエーション 生活創造  
施設 活動写真 放送・ラジオ興行 寄席 流行歌 学校教育・制度  
保健衛生 知識階級 文化主義 芸術・美学 伝承娯楽 青年・学生  
子ども 家庭・家計生活 享楽費 行政・政策・統制 関東大震災  
復興 イギリス ドイツ 戦時体制

### 目次 (抄)

序論 (先行研究：権田の人物史研究 / 文部省社会教育行政との  
関わり / 権田の娯楽論の展開)

#### 第1章 美術工芸論と民衆娯楽の着想

##### 第1節 美術工芸論

美術評論活動 / 美術工芸運動への注目 / 美術工芸論の構築

##### 第2節 民衆娯楽問題認識

活動写真への注目 / 民衆娯楽の着想と形成

##### 第3節 社会改造の視点

資本主義社会体制への問い—社会教育への関心—

社会像の模索 / 社会教育への注目

#### 第2章 学問の形成と視点

##### 第1節 民衆文化論争における位置

論争の周辺 / 権田の主張

##### 第2節 批判の姿勢

社会主義観 / ウィリアム・モリス理解 / 民衆観 / 学校教育  
制度批判

##### 第3節 概念主義への批判

文化主義への批判 / 知識階級への批判

##### 第4節 学校万能主義への批判

知識偏重教育の批判 / 社会教育と学校教育 / 都会と地方の  
民衆娯楽

##### 第5節 社会的事実追究の姿勢

民衆娯楽の諸相 / 権田の世相観

##### 第6節 民衆教育構想

民衆教育論 / 社会的側面 / 大衆娯楽と民衆教育

#### 第3章 娯楽論の展開

##### 第1節 民衆娯楽論

「娯楽なき人生」の体験 / 娯楽三定説の批判的検討

「生活創造としての娯楽」の提唱 / 生活像の模索

##### 第2節 国民娯楽論

民衆娯楽から国民娯楽への過渡 / 国民娯楽観 / 余暇  
観・労働観

大衆性と指導性の関係 / 民衆娯楽の解体

#### 第4章 娯楽問題の追究と「娯楽公営化」構想

##### 第1節 農村娯楽問題への注目

地方への関心 / 農村娯楽への問題認識 / 地方文化の追究

##### 第2節 労働者娯楽問題への注目

労働者への関心 / 労働者娯楽に対する問題認識

労働者のための家庭娯楽論

##### 第3節 学生娯楽問題への注目

学生娯楽問題調査への関わり / 青年と民衆娯楽

青年学生娯楽の意義

##### 第4節 民衆生活における娯楽の成立

民衆娯楽対策 / 事実としての民衆娯楽

##### 第5節 娯楽至上主義の視点

娯楽に関する問題意識 / 娯楽の普及

##### 第6節 民衆娯楽問題と社会教育

##### 第7節 「娯楽公営化」構想

社会対策と映画 / 教育映画

結論 (社会教育史における権田の娯楽論 / まとめ)

【著者】(さかうち なつこ) 現在、早稲田大学教育・総合科学学  
術院教授。博士(教育学)2003年。研究分野:社会教育・生涯学習。

(資料)権田保之助略年譜・著書・参考文献  
索引



# 女子体育概念、女子体育教師像、教師養成機関の変遷等、女子体育教師の歴史と現状を歴大なデータをもとに詳細に跡づけ分析・考察、今後の女子体育教師のあり方を考える基礎資料とする大著

## 目次より

### 第1部 「女子体育」の形成

- 第1章 学校令以前における女子体育関係名辞〔体操伝習所設立以前/以後〕
- 第2章 学校令以後の明治期における女子体育関係名辞〔主要体育関係書、女子教育関係書で使用された女子体育関係名辞〕
- 第3章 大正期体育書にみる女子体育の分化：女子体育の位置付け、名辞、論から
- 第4章 戦前の学校体育制度における女子の特性〔学制 教育令 学校令：学校体操教授要目制定以前/後〕

### 第2部 「女子体育は女子指導者の手で」の考え方

- 第1章 「女子体育は女子指導者の手で」の出現：大正初期まで〔小学女教師の登場：女子は天然の教員 中等教育〕
- 第2章 昭和旧制度期における「女子体育は女子の手で」〔動向 理由 定着していたのか 定着しなかった理由〕

### 第3部 女子体育教師誕生前後の女子体育を教えた教師たち

- 第1章 明治期における私立女学校、高等女学校の体育の指導者
- 第2章 明治期ミッション・スクール外国人女性宣教師による体育指導：活水女学校マリアナ・ヤング (Miss Mariana Young 1864-1932) 校長の体育奨励

### 第4部 女子体育教師養成の始まり

- 第1章 高橋忠次郎：私立東京女子体操音楽学校の創立者として〔日本遊戯調査会 私立「東京女子体操音楽学校」創設 渡米〕
- 第2章 藤村トヨによる私立東京女子体操音楽学校の再興：高橋忠次郎からの委任書をめぐって〔藤村トヨの設立者、校長の就任と閉鎖命令の撤回 2度の学則改正〕

### 第5部 女子体育教師の定着

- 第1章 明治後期における各種学校としての女学校体操科受持ち教員について：『諸学校職員録』、『中等教育諸学校職員録』を手懸かりに
- 第2章 明治後期における高等女学校体操科受持ち教員の実態について：「體操ハ成ルヘク女教員ヲシテ之ヲ教授セシムヘシ」の実現状況
- 第3章 大正後期における中等程度各種の女学校体操科受持ち教員について：『中等教育諸学校職員録』を手懸かりに
- 第4章 大正後期における高等女学校・実科高等女学校体操科受持ち教員について：『中等教育諸学校職員録』を手懸かりに
- 第5章 昭和戦前期における女学校（各種学校・女子実業学校）体操科受持ち教員について：『中等教育諸学校職員録』（1930年、1934年）、『高等女学校女子実業学校職員録』（1939年）を手懸かりに
- 第6章 昭和戦前期における高等女学校・実科高等女学校体操科受持ち教員について：明治後期から昭和戦前期を通じた『中等教育諸学校職員録』（1903年-1934年）『高等女学校女子実業学校職員録』（1939年）の分析を手懸かりに

### 第6部 明治期から昭和旧制度期までの女子体育教師養成機関と体操科教員免許状取得者

- 第1章 明治期における女子体育教員養成機関：私立東京女子体操音楽学校、日本体育会体操学校女子部、女子高等師範学校国語体操専修科の比較〔設立経緯 設立目的 教育 教員 卒業生数とその就職先〕
- 第2章 明治期における体操科教員免許状取得者：中等学校教員免許状女子取得者を中心として
- 第3章 大正期における女子体操科教員養成機関と中等学校体操科教員免許状女子取得者
- 第4章 昭和期旧制度における女子体操科教員養成機関と中等学校体操科（体錬科）教員免許状女子取得者
- 第5章 女子体育教師養成史における臨時教員養成所の位置と役割〔第六臨時教員養成所と東京女子臨時教員養成所 女子高等師範学校〕

### 第7部 女子体育教師の教育と職歴

- 第1章 戦前の女子体育教師の教育
- 第2章 女子体育教師養成機関卒業生の職歴：私立東京女子体操音楽学校、東京女子体育専門学校、東京女子体育短期大学、東京女子体育大学 1920-84年卒業生への調査から

### 第8部 男女共同参画社会における女子体育教師の役割

- 第1章 戦後における保健体育科教員養成における男女差の検討（1949-2001）〔保健体育科教員養成機関設置状況の男女差 国立教員養成大学・学部保健体育科カリキュラムにおける男女差の変遷：東京学芸大学の場合〕
- 第2章 女子体育大生からみた女子体育教師の役割
- 第3章 高等学校体育教師と校長からみた女子体育教師の役割
- 第4章 女子体育教師数減少の観点から〔1高等学校当たりの男女体育教師数 各種目担当保健体育科教師の性別割合 減少の理由〕
- 第5章 男女共修体育からみた男女平等体育の実現状況：男女共修体育の用語の動向と高等学校への一調査から

### 〈付録〉

- ① 明治・大正・昭和旧制度期文部省教員検定試験体操科（体錬科）試験検定〔本試験合格者官報掲載日・号・頁一覧 体操科教員免許状女子取得者〕
- ② 日本における女子体育教師数と役割の変遷
- ③ 教員養成を目的としない国公私立大学・短期大学保健体育科教員養成機関（1949年-2004年）（教育職員免許状課程認定校・国公私立大学・短大、共学・女子大・男子大別設置年月順）
- ④ 第7部第1章 自由記述で求めた質問の回答
- ⑤ 第8部第3章 自由記述で求めた質問の回答

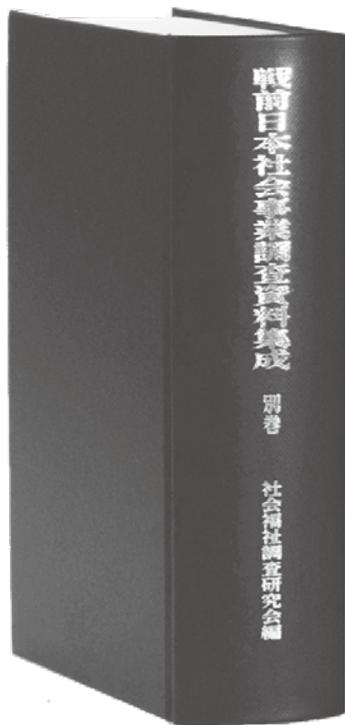
# 調査資料文献／概要

社会福祉調査研究会 編・発行 (発行 2019年12月)  
(発売元・大空社出版)

社会事業(社会福祉)調査資料文献 [戦前期(明治後半期～1945年8月)]  
約 **1300点** かつてない規模・専門研究者執筆による最適の文献案内!

【編集・執筆者】 寺脇隆夫・大久保秀子・太田由加里・大友昌子・加瀬裕子・加登田恵子・田澤あけみ・月田みづえ・中村律子・西原香保里・西村みはる・野口典子・林(土岐)祥子・藤崎宏子・宮崎(松岡)英子・山田(村松)知子・山田祐子

組見本 (縮小)



A5判・上製・クロス装 **1225頁**  
978-4-908926-64-8  
定価 37,400円  
(本体 34,000円 + 税 10%)

\*本書は『戦前日本社会事業調査資料集成』全10巻(勁草書房1986-95)の別巻です。  
このシリーズは別巻をもって完結しました。

## 【16】 災害救助(震災・津波)

- [1601] [未公開文書資料綴] 臨時救療事業一件 済生会庶務部 1923.9~24.7  
[資料の概要] ①資料名: タイトルに同じ [未公開文書資料綴] ②作成者: 済生会庶務部  
③作成年月: 1923(大正12)~24年頃 ④判型: B5判(B4判二つ折り(表紙は厚紙に墨書した文書綴、内容は謄写印刷文書がほとんど)) ⑤頁数: あわせて約360(B4判用紙で計187枚) ⑥調査票の添付: なし  
[資料の特徴] 本資料は、済生会が1923(大正12)年から翌24年にかけて大震災災後に実施した臨時救療事業関係の諸文書類の綴(済生会庶務部内で作成・検討された諸文書類の綴、厚さ3cm余)である。  
庶務部内の保存用の文書綴というべきものであるが、当時(震災後)の臨時救療事業の雰囲気かストレートに伝わってくる感がある。  
[資料の内容] 本資料に含まれる文書資料は、分量が多く(数え方にもよるが80点前後にもおよぶ)、救療関係とは言え多様なので、主要なものや重要と思われるものを中心に、その三分の一強ほどを以下に示した。なお、これらのうちそれぞれのタイトル末尾に#印を付したもの(6点)については、その概要について本書で取り上げ、紹介している(括弧内に本書の収録Noを表示)。  
\*主な綴文書のタイトル・内容(綴順のため、日付順ではない)  
・済生会震災救療並計画報告(大正十二年九月二十五日) 謄写印刷 B4判便箋2枚 # (→No1602参照)  
・臨時救済部職制内規 謄写印刷 A4判便箋2枚(「決定案/十月十日」の書込み)  
・タイトルなし(第一計画/第二計画) 謄写印刷 B4判3枚(「決定案」の書込み)  
・臨時震災救療諸費実行予算案(概計/内訳) 謄写印刷 B4判4枚(「確定」の書込み)  
・臨時費実行予算概計(概計/内訳) 謄写印刷 B4判5枚(「確定」の書込み)  
・十月十日調(既定支出額) 謄写印刷 B4判1枚/各局別予算総括書 謄写印刷 B4判3枚  
・臨時震災救療諸費本部予算内訳書 謄写印刷 B4判1枚/臨時震災救療費各局配当表  
・病院、産院、乳児院予算 謄写印刷 B4判1枚/各病院、産院、乳児院職員配置定員表 謄写印刷 B4判1枚  
・臨時救療機関ノ現況(大正十三年二月十日調) 済生会 謄写印刷 B4判1枚(表紙含む) # (→No1611参照)  
・参考/患者数摘要 謄写印刷 B4判1枚/診療機関一覧表(大正十三年二月十日現在) 謄写印刷 B4判3枚  
・(臨時施設)臨時巡回看護班概要(大正十三年三月) 済生会 謄写印刷 B4判6枚 目次あり # (→No1614参照)

# 分類区分一覧

\* 98 区分で資料を分類

社会事業、福祉・慈善事業から  
経済・社会・思想・民衆・生活・医療・教育・  
地方・労働・貧困・災害等々  
あらゆる研究領域に有用

## 調査・研究は、この1冊から始める!

今日的〈課題・問題〉へのヒントを蔵する資料群  
への有効な道案内

◆各調査・資料の概要は以下の項目別に解題される。

- ①資料の概要      ②資料の特徴      ③調査の概要
- ④調査の内容      ⑤集計の特徴      ⑥資料の所蔵
- ⑦備考

### 【94】 社会事業（施設）の経営／私营・公私問題

〔9401〕 「東京府市に於ける私営社会事業の現状」 岡弘毅 1929. 8 (No.9006共同募金調査報告書、に所収)

〔資料の概要〕 ①資料名：タイトルと同じ（前掲のNo.9006共同募金調査報告書中の四章）  
②作成者：岡弘毅 ③作成年月：1929（昭和4）年8月 ④判型：A5判（活版印刷）⑤  
頁数：34（該当部分）

〔資料の特徴〕 本資料は、東京府社会事業協会の創設（1917＝大正6年）以来の中核的担い  
手であった協会常務幹事の岡弘毅が、1929年に協会が編者としてまとめた「共同募金調査  
報告書」の第四章として、執筆したものである。

そこでは、東京府管内の私営社会事業、とくにその経営状況に関するデータを紹介しつ  
つ、経済難・経営難の問題を取り上げたものである。

〔資料の内容〕 本資料の内容は、タイトルに見られるように、東京（府・市）の私営社会事  
業の現状を取り上げたものだが、以下の構成（目次）と添付の関係表からなる。

#### 第一節 団体及其の施設数

府管内私営社会事業団体数、施設数（事業の種類別）  
東京府下私立救済団体能力調査表（昭和2年12月末日調）

#### 第二節 私営社会事業の経済難の原因と現状

私営社会事業発達調（経営主体創立年別）  
東京市設社会事業累年比較表（事業の種類別）  
東京府管内私営社会事業団体財源調（大正15年度決算に依る経常費に対する歳入科目別  
金額調）

#### 第三節 私営社会事業の経営難の救済

〔資料の所蔵〕 ——

〔備考〕 ①「集成」への収録：なし ②他の復刻版：あり→「岡弘毅と社会事業／  
その足跡と遺稿」、編纂刊行会（都政人舎刊）（1980）

（編集部）

〔9402〕 「私設社会事業團體寄附金収入額調（昭和十年度二於ケル）」 社会局 1937. 12〔未  
公刊文書資料綴〕社会事業に関する調査資料（昭和十二年十二月）に所収）

〔資料の概要〕 ①資料名：タイトルと同じ（前掲No.8817〔未公刊文書資料綴〕社会事業二関  
スル調査資料（昭和十二年十二月）の「四」） ②作成者：社会局 ③作成年月：1937（昭  
和12）年12月 ④判型：B5判（謄写印刷） ⑤頁数：2

〔資料の特徴〕 本資料は、社会局が1937（昭和12）年12月にまとめた〔未公刊文書資料綴〕  
社会事業に関する調査資料中に含まれる資料で、1935（昭和10）年度の私設社会事業団体の

貧困・困窮者/救済・救護  
 浮浪・ルンペン・行路病者  
 木賃宿/公的宿泊所(宿泊者)  
 屑拾い・バタヤ/残飯・残食物  
 水上生活者(水上児童含む)  
 貧民窟・スラム・不良住宅地区  
 不良住宅地区改良事業/改良後の生活状況  
 住宅困窮・住宅難/家賃問題  
 公的住宅(公営住宅・同潤会住宅)  
 生計・家計状態  
 救療/無料・軽費・実費診療  
 冷害・凶作  
 産業災害・鉱工業災害/戦争災害  
 廃兵・傷病兵・傷痍軍人/遺家族援護  
 営利職業紹介業/職業紹介事業  
 失業者・自由労働者(日稼・日雇)  
 婦人労働(女工・職業婦人)  
 物価騰貴と米騒動/経済保護事業  
 公設市場  
 営利質屋業/公益質屋  
 公設食堂/公衆浴場  
 内職・副業  
 授産事業・授産施設  
 隣保事業・セツルメント事業  
 農村社会事業・農山漁村の生活  
 乳児死亡/出生・死亡状況  
 妊産婦・乳幼児保健  
 児童の生活状況・実態/私生児・家出・浮浪・自殺  
 児童保護事業(概要・施設一覧)  
 児童保護活動/児童相談/一時保護  
 児童遊園・児童公園/遊び・玩具  
 欠食・栄養不良/給食・栄養補給  
 虚弱・病弱児/林間学校・転住施設  
 障害児童(特殊・異常児含む)  
 保育・託児所(常設)  
 工場鉱山の保育・託児  
 農繁期(季節)保育・託児  
 棄児/児童虐待/親子心中  
 育児・養育事業(育児院・孤児院)  
 乳児昼夜保育(乳児院)  
 里子・里親/家庭養育委託  
 貧児教育、不就学問題/就学奨励  
 児童労働・児童の就業状況  
 小卒児童の進路・希望/就職状況  
 少年職業紹介・就職後指導  
 不良児・非行問題一般  
 感化院・少年教護院/感化事業  
 少年院・少年審判所/保護少年  
 幼年監獄・少年受刑者  
 母子保護/母子ホーム(父子含む)  
 女中・派出婦・家政婦  
 芸娼妓・酌婦紹介業(公周施業)  
 人身売買・身売  
 娼妓・娼婦/廢娼運動  
 女給・ホステス  
 養老事業・養老院/老衰者  
 障害者(盲・不具・廢疾)  
 自殺  
 精神病  
 癩病(ハンセン氏病)  
 結核  
 花柳症・性病  
 麻薬など薬物中毒  
 出獄人・免囚保護/司法保護事業  
 内地居住の朝鮮人  
 社会保険(健保・年金・国保)  
 社会事業(施設)一覧・名鑑類(全国・地域)  
 社会事業概要・要覧類(全国・北海道・東北/東京・関東  
 /中部・北陸・東海/関西/中国・四国/九州・沖縄)  
 都市社会事業/大都市比較  
 社会事業統計調査関係  
 社会事業行政  
 社会事業奨励助成/共同募金/寄附金  
 委員制度(方面委員・救護委員など)  
 社会事業(施設)の連絡団体  
 社会事業(施設)の状況全般(視察報告/年表)  
 社会事業(施設)の経営/私营・公私問題  
 社会事業(施設)の入所・利用者/処遇  
 社会事業(施設)の入所・利用者/処遇  
 社会事業(施設)職員/功労者  
 社会事業(施設)の職員養成  
 社会事業全般/年鑑

# 教育学術界

全 82 巻・別巻 1 [大空社 1989-98]

(明治編) 寺崎昌男監修/小熊伸一解説

■明治・大正〈近代日本〉の教育理論・学術研究・教育問題... 現代の研究が立ち返るべき宝庫 1899年創刊から約半世紀、長命を維持した代表的教育雑誌。海外理論を積極的に摂取、高い学術性を保ち、初等・中等・専門教育に目を配り、日本独自の教育の確立を模索する論文を掲載。錚々たる寄稿者。

【明治編】全 48 巻〈同文館、明治 32. 11- 大正 1. 9〉  
別巻 (解説・総目次・著者名索引)

〈全 5 回配本〉 定価 847,000 円 (本体 770,000 円+税)

【大正編】全 34 巻〈同文館→大日本学術協会→東京モナス、大正 1. 10-10. 3)

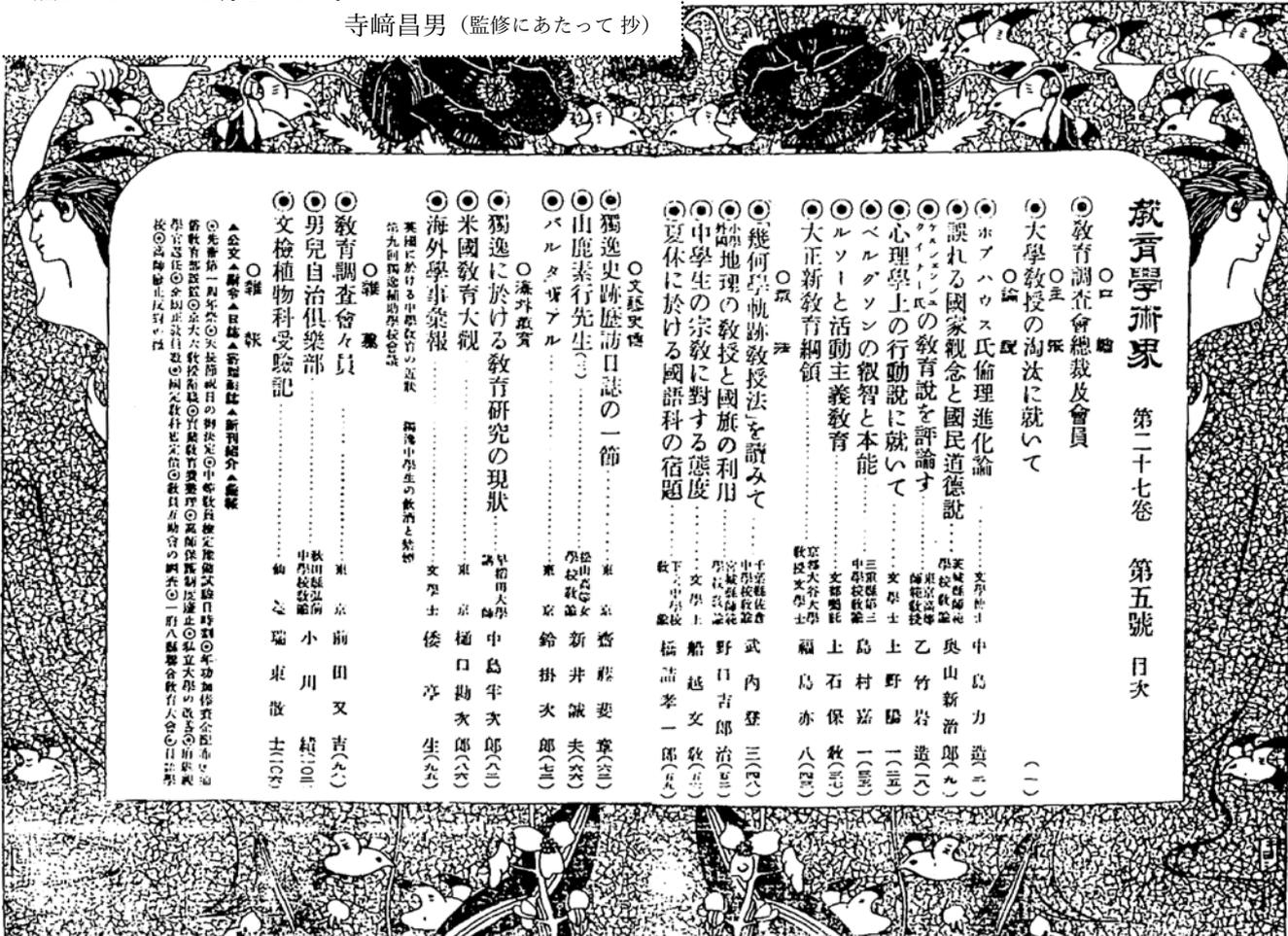
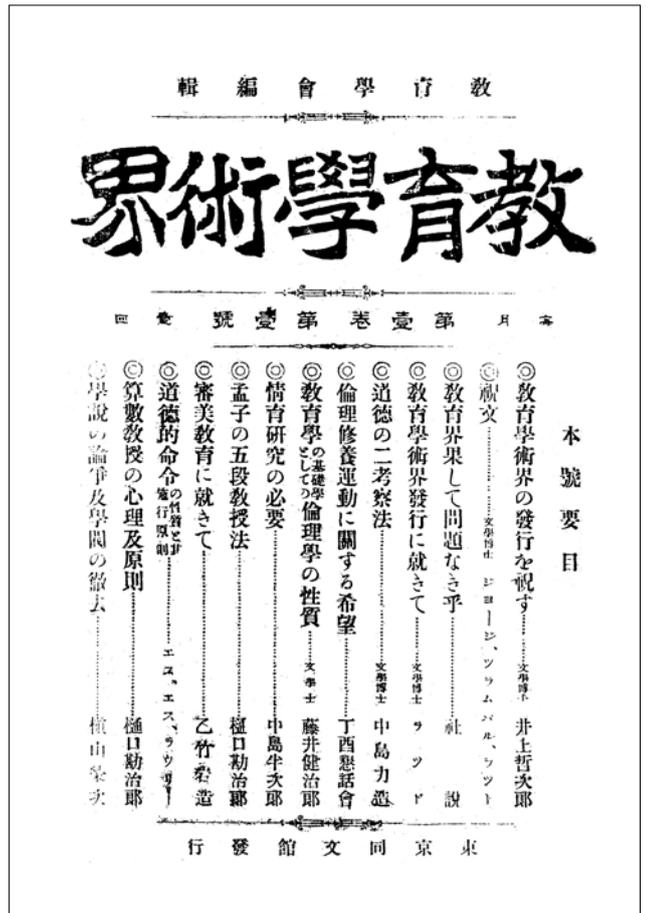
〈全 5 回配本〉 定価 596,136 円 (本体 541,942 円+税)

1899年(明治32)に創刊され以後約50年間刊行されたこの雑誌『教育学術界』は、すでに複製版のある『教育時論』に匹敵する刊行寿命をもつ代表的教育雑誌であった。しかも後者にくらべて、学術性・理論性においてははるかに高いものをもっていた。一方、同じく代表的教育雑誌だった『教育報知』にくらべ政治的主張においてやや鮮明さを欠いていたが、そのことにかえって安定した重厚さを保っていた。早稲田・慶応・東京高師さらには帝国大学に及ぶ編集陣によって編纂が受け継がれ、誌名通りの「学術性」を失わなかった。さらに、初等教育だけでなく、中等教育・専門教育に及ぶトピックを取り上げ論文を掲載しつづけたのも、他の雑誌にない大きな特色だった。

寺崎昌男 (監修にあたって抄)

## 全巻揃残部 1組

\* 配本分売応ご相談



### 教育学術界 第二十七卷 第五號 日次

◎ 口 題

- ◎ 教育調査會總裁及會員
- ◎ 大學教授の淘汰に就いて
- ◎ ホバハウス氏倫理進化論
- ◎ 誤れる國家觀念と國民道徳説
- ◎ フランケルの教育説を評論す
- ◎ 心理學上の行動説に就いて
- ◎ ベルグソンの微智と本能
- ◎ ルソーと活動主義教育
- ◎ 大正新教育綱領
- ◎ 幾何學軌跡教授法を讀みて
- ◎ 地理の教授と國旗の利用
- ◎ 中學生の宗教に對する態度
- ◎ 夏休に於ける國語科の宿題

◎ 文藝史稿

- ◎ 獨逸史跡歴訪日誌の一節…………… 東 齋藤 妻 章 (三)
- ◎ 山鹿素行先生…………… 山鹿 素 行 (六)
- ◎ パルタヴァアル…………… 東 鈴 掛 次 郎 (三)
- ◎ 海外學事彙報…………… 早稲田大學 中島牛次郎 (八)
- ◎ 獨逸に於ける教育研究の現状…………… 東 樋口勤治郎 (六)
- ◎ 米國教育大視…………… 文部士 倭 亭 生 (九)
- ◎ 海外學事彙報…………… 第九回獨逸補助學校會誌

◎ 雜 稿

- ◎ 教育調査會々員…………… 東 京 前 田 又 吉 (九)
- ◎ 男兒自治俱樂部…………… 秋田縣立 小 川 續 (四)
- ◎ 文檢植物科受驗記…………… 倫 瑞 東 散 士 (六)

△ 公文 △ 附 録 △ 目 次 △ 寄 附 誌 △ 新 刊 誌 介 △ 産 産

◎ 先 著 第 一 号 第 二 号 第 三 号 第 四 号 第 五 号 第 六 号 第 七 号 第 八 号 第 九 号 第 十 号 第 十 一 号 第 十 二 号 第 十 三 号 第 十 四 号 第 十 五 号 第 十 六 号 第 十 七 号 第 十 八 号 第 十 九 号 第 二 十 号 第 二 十 一 号 第 二 十 二 号 第 二 十 三 号 第 二 十 四 号 第 二 十 五 号 第 二 十 六 号 第 二 十 七 号 第 二 十 八 号 第 二 十 九 号 第 三 十 号 第 三 十 一 号 第 三 十 二 号 第 三 十 三 号 第 三 十 四 号 第 三 十 五 号 第 三 十 六 号 第 三 十 七 号 第 三 十 八 号 第 三 十 九 号 第 四 十 号 第 四 十 一 号 第 四 十 二 号 第 四 十 三 号 第 四 十 四 号 第 四 十 五 号 第 四 十 六 号 第 四 十 七 号 第 四 十 八 号 第 四 十 九 号 第 五 十 号 第 五 十 一 号 第 五 十 二 号 第 五 十 三 号 第 五 十 四 号 第 五 十 五 号 第 五 十 六 号 第 五 十 七 号 第 五 十 八 号 第 五 十 九 号 第 六 十 号 第 六 十 一 号 第 六 十 二 号 第 六 十 三 号 第 六 十 四 号 第 六 十 五 号 第 六 十 六 号 第 六 十 七 号 第 六 十 八 号 第 六 十 九 号 第 七 十 号 第 七 十 一 号 第 七 十 二 号 第 七 十 三 号 第 七 十 四 号 第 七 十 五 号 第 七 十 六 号 第 七 十 七 号 第 七 十 八 号 第 七 十 九 号 第 八 十 号 第 八 十 一 号 第 八 十 二 号 第 八 十 三 号 第 八 十 四 号 第 八 十 五 号 第 八 十 六 号 第 八 十 七 号 第 八 十 八 号 第 八 十 九 号 第 九 十 号 第 九 十 一 号 第 九 十 二 号 第 九 十 三 号 第 九 十 四 号 第 九 十 五 号 第 九 十 六 号 第 九 十 七 号 第 九 十 八 号 第 九 十 九 号 第 十 十 号 第 十 十 一 号 第 十 十 二 号 第 十 十 三 号 第 十 十 四 号 第 十 十 五 号 第 十 十 六 号 第 十 十 七 号 第 十 十 八 号 第 十 十 九 号 第 十 一 十 号 第 十 一 十 一 号 第 十 一 十 二 号 第 十 一 十 三 号 第 十 一 十 四 号 第 十 一 十 五 号 第 十 一 十 六 号 第 十 一 十 七 号 第 十 一 十 八 号 第 十 一 十 九 号 第 十 二 十 号 第 十 二 十 一 号 第 十 二 十 二 号 第 十 二 十 三 号 第 十 二 十 四 号 第 十 二 十 五 号 第 十 二 十 六 号 第 十 二 十 七 号 第 十 二 十 八 号 第 十 二 十 九 号 第 十 三 十 号 第 十 三 十 一 号 第 十 三 十 二 号 第 十 三 十 三 号 第 十 三 十 四 号 第 十 三 十 五 号 第 十 三 十 六 号 第 十 三 十 七 号 第 十 三 十 八 号 第 十 三 十 九 号 第 十 四 十 号 第 十 四 十 一 号 第 十 四 十 二 号 第 十 四 十 三 号 第 十 四 十 四 号 第 十 四 十 五 号 第 十 四 十 六 号 第 十 四 十 七 号 第 十 四 十 八 号 第 十 四 十 九 号 第 十 五 十 号 第 十 五 十 一 号 第 十 五 十 二 号 第 十 五 十 三 号 第 十 五 十 四 号 第 十 五 十 五 号 第 十 五 十 六 号 第 十 五 十 七 号 第 十 五 十 八 号 第 十 五 十 九 号 第 十 六 十 号 第 十 六 十 一 号 第 十 六 十 二 号 第 十 六 十 三 号 第 十 六 十 四 号 第 十 六 十 五 号 第 十 六 十 六 号 第 十 六 十 七 号 第 十 六 十 八 号 第 十 六 十 九 号 第 十 七 十 号 第 十 七 十 一 号 第 十 七 十 二 号 第 十 七 十 三 号 第 十 七 十 四 号 第 十 七 十 五 号 第 十 七 十 六 号 第 十 七 十 七 号 第 十 七 十 八 号 第 十 七 十 九 号 第 十 八 十 号 第 十 八 十 一 号 第 十 八 十 二 号 第 十 八 十 三 号 第 十 八 十 四 号 第 十 八 十 五 号 第 十 八 十 六 号 第 十 八 十 七 号 第 十 八 十 八 号 第 十 八 十 九 号 第 十 九 十 号 第 十 九 十 一 号 第 十 九 十 二 号 第 十 九 十 三 号 第 十 九 十 四 号 第 十 九 十 五 号 第 十 九 十 六 号 第 十 九 十 七 号 第 十 九 十 八 号 第 十 九 十 九 号 第 十 十 十 号 第 十 十 十 一 号 第 十 十 十 二 号 第 十 十 十 三 号 第 十 十 十 四 号 第 十 十 十 五 号 第 十 十 十 六 号 第 十 十 十 七 号 第 十 十 十 八 号 第 十 十 十 九 号 第 十 一 十 十 号 第 十 一 十 十 一 号 第 十 一 十 十 二 号 第 十 一 十 十 三 号 第 十 一 十 十 四 号 第 十 一 十 十 五 号 第 十 一 十 十 六 号 第 十 一 十 十 七 号 第 十 一 十 十 八 号 第 十 一 十 十 九 号 第 十 二 十 十 号 第 十 二 十 十 一 号 第 十 二 十 十 二 号 第 十 二 十 十 三 号 第 十 二 十 十 四 号 第 十 二 十 十 五 号 第 十 二 十 十 六 号 第 十 二 十 十 七 号 第 十 二 十 十 八 号 第 十 二 十 十 九 号 第 十 三 十 十 号 第 十 三 十 十 一 号 第 十 三 十 十 二 号 第 十 三 十 十 三 号 第 十 三 十 十 四 号 第 十 三 十 十 五 号 第 十 三 十 十 六 号 第 十 三 十 十 七 号 第 十 三 十 十 八 号 第 十 三 十 十 九 号 第 十 四 十 十 号 第 十 四 十 十 一 号 第 十 四 十 十 二 号 第 十 四 十 十 三 号 第 十 四 十 十 四 号 第 十 四 十 十 五 号 第 十 四 十 十 六 号 第 十 四 十 十 七 号 第 十 四 十 十 八 号 第 十 四 十 十 九 号 第 十 五 十 十 号 第 十 五 十 十 一 号 第 十 五 十 十 二 号 第 十 五 十 十 三 号 第 十 五 十 十 四 号 第 十 五 十 十 五 号 第 十 五 十 十 六 号 第 十 五 十 十 七 号 第 十 五 十 十 八 号 第 十 五 十 十 九 号 第 十 六 十 十 号 第 十 六 十 十 一 号 第 十 六 十 十 二 号 第 十 六 十 十 三 号 第 十 六 十 十 四 号 第 十 六 十 十 五 号 第 十 六 十 十 六 号 第 十 六 十 十 七 号 第 十 六 十 十 八 号 第 十 六 十 十 九 号 第 十 七 十 十 号 第 十 七 十 十 一 号 第 十 七 十 十 二 号 第 十 七 十 十 三 号 第 十 七 十 十 四 号 第 十 七 十 十 五 号 第 十 七 十 十 六 号 第 十 七 十 十 七 号 第 十 七 十 十 八 号 第 十 七 十 十 九 号 第 十 八 十 十 号 第 十 八 十 十 一 号 第 十 八 十 十 二 号 第 十 八 十 十 三 号 第 十 八 十 十 四 号 第 十 八 十 十 五 号 第 十 八 十 十 六 号 第 十 八 十 十 七 号 第 十 八 十 十 八 号 第 十 八 十 十 九 号 第 十 九 十 十 号 第 十 九 十 十 一 号 第 十 九 十 十 二 号 第 十 九 十 十 三 号 第 十 九 十 十 四 号 第 十 九 十 十 五 号 第 十 九 十 十 六 号 第 十 九 十 十 七 号 第 十 九 十 十 八 号 第 十 九 十 十 九 号 第 十 十 十 十 号 第 十 十 十 十 一 号 第 十 十 十 十 二 号 第 十 十 十 十 三 号 第 十 十 十 十 四 号 第 十 十 十 十 五 号 第 十 十 十 十 六 号 第 十 十 十 十 七 号 第 十 十 十 十 八 号 第 十 十 十 十 九 号 第 十 一 十 十 十 号 第 十 一 十 十 十 一 号 第 十 一 十 十 十 二 号 第 十 一 十 十 十 三 号 第 十 一 十 十 十 四 号 第 十 一 十 十 十 五 号 第 十 一 十 十 十 六 号 第 十 一 十 十 十 七 号 第 十 一 十 十 十 八 号 第 十 一 十 十 十 九 号 第 十 二 十 十 十 号 第 十 二 十 十 十 一 号 第 十 二 十 十 十 二 号 第 十 二 十 十 十 三 号 第 十 二 十 十 十 四 号 第 十 二 十 十 十 五 号 第 十 二 十 十 十 六 号 第 十 二 十 十 十 七 号 第 十 二 十 十 十 八 号 第 十 二 十 十 十 九 号 第 十 三 十 十 十 号 第 十 三 十 十 十 一 号 第 十 三 十 十 十 二 号 第 十 三 十 十 十 三 号 第 十 三 十 十 十 四 号 第 十 三 十 十 十 五 号 第 十 三 十 十 十 六 号 第 十 三 十 十 十 七 号 第 十 三 十 十 十 八 号 第 十 三 十 十 十 九 号 第 十 四 十 十 十 号 第 十 四 十 十 十 一 号 第 十 四 十 十 十 二 号 第 十 四 十 十 十 三 号 第 十 四 十 十 十 四 号 第 十 四 十 十 十 五 号 第 十 四 十 十 十 六 号 第 十 四 十 十 十 七 号 第 十 四 十 十 十 八 号 第 十 四 十 十 十 九 号 第 十 五 十 十 十 号 第 十 五 十 十 十 一 号 第 十 五 十 十 十 二 号 第 十 五 十 十 十 三 号 第 十 五 十 十 十 四 号 第 十 五 十 十 十 五 号 第 十 五 十 十 十 六 号 第 十 五 十 十 十 七 号 第 十 五 十 十 十 八 号 第 十 五 十 十 十 九 号 第 十 六 十 十 十 号 第 十 六 十 十 十 一 号 第 十 六 十 十 十 二 号 第 十 六 十 十 十 三 号 第 十 六 十 十 十 四 号 第 十 六 十 十 十 五 号 第 十 六 十 十 十 六 号 第 十 六 十 十 十 七 号 第 十 六 十 十 十 八 号 第 十 六 十 十 十 九 号 第 十 七 十 十 十 号 第 十 七 十 十 十 一 号 第 十 七 十 十 十 二 号 第 十 七 十 十 十 三 号 第 十 七 十 十 十 四 号 第 十 七 十 十 十 五 号 第 十 七 十 十 十 六 号 第 十 七 十 十 十 七 号 第 十 七 十 十 十 八 号 第 十 七 十 十 十 九 号 第 十 八 十 十 十 号 第 十 八 十 十 十 一 号 第 十 八 十 十 十 二 号 第 十 八 十 十 十 三 号 第 十 八 十 十 十 四 号 第 十 八 十 十 十 五 号 第 十 八 十 十 十 六 号 第 十 八 十 十 十 七 号 第 十 八 十 十 十 八 号 第 十 八 十 十 十 九 号 第 十 九 十 十 十 号 第 十 九 十 十 十 一 号 第 十 九 十 十 十 二 号 第 十 九 十 十 十 三 号 第 十 九 十 十 十 四 号 第 十 九 十 十 十 五 号 第 十 九 十 十 十 六 号 第 十 九 十 十 十 七 号 第 十 九 十 十 十 八 号 第 十 九 十 十 十 九 号 第 十 十 十 十 十 号 第 十 十 十 十 十 一 号 第 十 十 十 十 十 二 号 第 十 十 十 十 十 三 号 第 十 十 十 十 十 四 号 第 十 十 十 十 十 五 号 第 十 十 十 十 十 六 号 第 十 十 十 十 十 七 号 第 十 十 十 十 十 八 号 第 十 十 十 十 十 九 号 第 十 一 十 十 十 十 号 第 十 一 十 十 十 十 一 号 第 十 一 十 十 十 十 二 号 第 十 一 十 十 十 十 三 号 第 十 一 十 十 十 十 四 号 第 十 一 十 十 十 十 五 号 第 十 一 十 十 十 十 六 号 第 十 一 十 十 十 十 七 号 第 十 一 十 十 十 十 八 号 第 十 一 十 十 十 十 九 号 第 十 二 十 十 十 十 号 第 十 二 十 十 十 十 一 号 第 十 二 十 十 十 十 二 号 第 十 二 十 十 十 十 三 号 第 十 二 十 十 十 十 四 号 第 十 二 十 十 十 十 五 号 第 十 二 十 十 十 十 六 号 第 十 二 十 十 十 十 七 号 第 十 二 十 十 十 十 八 号 第 十 二 十 十 十 十 九 号 第 十 三 十 十 十 十 号 第 十 三 十 十 十 十 一 号 第 十 三 十 十 十 十 二 号 第 十 三 十 十 十 十 三 号 第 十 三 十 十 十 十 四 号 第 十 三 十 十 十 十 五 号 第 十 三 十 十 十 十 六 号 第 十 三 十 十 十 十 七 号 第 十 三 十 十 十 十 八 号 第 十 三 十 十 十 十 九 号 第 十 四 十 十 十 十 号 第 十 四 十 十 十 十 一 号 第 十 四 十 十 十 十 二 号 第 十 四 十 十 十 十 三 号 第 十 四 十 十 十 十 四 号 第 十 四 十 十 十 十 五 号 第 十 四 十 十 十 十 六 号 第 十 四 十 十 十 十 七 号 第 十 四 十 十 十 十 八 号 第 十 四 十 十 十 十 九 号 第 十 五 十 十 十 十 号 第 十 五 十 十 十 十 一 号 第 十 五 十 十 十 十 二 号 第 十 五 十 十 十 十 三 号 第 十 五 十 十 十 十 四 号 第 十 五 十 十 十 十 五 号 第 十 五 十 十 十 十 六 号 第 十 五 十 十 十 十 七 号 第 十 五 十 十 十 十 八 号 第 十 五 十 十 十 十 九 号 第 十 六 十 十 十 十 号 第 十 六 十 十 十 十 一 号 第 十 六 十 十 十 十 二 号 第 十 六 十 十 十 十 三 号 第 十 六 十 十 十 十 四 号 第 十 六 十 十 十 十 五 号 第 十 六 十 十 十 十 六 号 第 十 六 十 十 十 十 七 号 第 十 六 十 十 十 十 八 号 第 十 六 十 十 十 十 九 号 第 十 七 十 十 十 十 号 第 十 七 十 十 十 十 一 号 第 十 七 十 十 十 十 二 号 第 十 七 十 十 十 十 三 号 第 十 七 十 十 十 十 四 号 第 十 七 十 十 十 十 五 号 第 十 七 十 十 十 十 六 号 第 十 七 十 十 十 十 七 号 第 十 七 十 十 十 十 八 号 第 十 七 十 十 十 十 九 号 第 十 八 十 十 十 十 号 第 十 八 十 十 十 十 一 号 第 十 八 十 十 十 十 二 号 第 十 八 十 十 十 十 三 号 第 十 八 十 十 十 十 四 号 第 十 八 十 十 十 十 五 号 第 十 八 十 十 十 十 六 号 第 十 八 十 十 十 十 七 号 第 十 八 十 十 十 十 八 号 第 十 八 十 十 十 十 九 号 第 十 九 十 十 十 十 号 第 十 九 十 十 十 十 一 号 第 十 九 十 十 十 十 二 号 第 十 九 十 十 十 十 三 号 第 十 九 十 十 十 十 四 号 第 十 九 十 十 十 十 五 号 第 十 九 十 十 十 十 六 号 第 十 九 十 十 十 十 七 号 第 十 九 十 十 十 十 八 号 第 十 九 十 十 十 十 九 号 第 十 十 十 十 十 十 号 第 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 十 十 十 十 十 九 号 第 十 一 十 十 十 十 十 号 第 十 一 十 十 十 十 十 一 号 第 十 一 十 十 十 十 十 二 号 第 十 一 十 十 十 十 十 三 号 第 十 一 十 十 十 十 十 四 号 第 十 一 十 十 十 十 十 五 号 第 十 一 十 十 十 十 十 六 号 第 十 一 十 十 十 十 十 七 号 第 十 一 十 十 十 十 十 八 号 第 十 一 十 十 十 十 十 九 号 第 十 二 十 十 十 十 十 号 第 十 二 十 十 十 十 十 一 号 第 十 二 十 十 十 十 十 二 号 第 十 二 十 十 十 十 十 三 号 第 十 二 十 十 十 十 十 四 号 第 十 二 十 十 十 十 十 五 号 第 十 二 十 十 十 十 十 六 号 第 十 二 十 十 十 十 十 七 号 第 十 二 十 十 十 十 十 八 号 第 十 二 十 十 十 十 十 九 号 第 十 三 十 十 十 十 十 号 第 十 三 十 十 十 十 十 一 号 第 十 三 十 十 十 十 十 二 号 第 十 三 十 十 十 十 十 三 号 第 十 三 十 十 十 十 十 四 号 第 十 三 十 十 十 十 十 五 号 第 十 三 十 十 十 十 十 六 号 第 十 三 十 十 十 十 十 七 号 第 十 三 十 十 十 十 十 八 号 第 十 三 十 十 十 十 十 九 号 第 十 四 十 十 十 十 十 号 第 十 四 十 十 十 十 十 一 号 第 十 四 十 十 十 十 十 二 号 第 十 四 十 十 十 十 十 三 号 第 十 四 十 十 十 十 十 四 号 第 十 四 十 十 十 十 十 五 号 第 十 四 十 十 十 十 十 六 号 第 十 四 十 十 十 十 十 七 号 第 十 四 十 十 十 十 十 八 号 第 十 四 十 十 十 十 十 九 号 第 十 五 十 十 十 十 十 号 第 十 五 十 十 十 十 十 一 号 第 十 五 十 十 十 十 十 二 号 第 十 五 十 十 十 十 十 三 号 第 十 五 十 十 十 十 十 四 号 第 十 五 十 十 十 十 十 五 号 第 十 五 十 十 十 十 十 六 号 第 十 五 十 十 十 十 十 七 号 第 十 五 十 十 十 十 十 八 号 第 十 五 十 十 十 十 十 九 号 第 十 六 十 十 十 十 十 号 第 十 六 十 十 十 十 十 一 号 第 十 六 十 十 十 十 十 二 号 第 十 六 十 十 十 十 十 三 号 第 十 六 十 十 十 十 十 四 号 第 十 六 十 十 十 十 十 五 号 第 十 六 十 十 十 十 十 六 号 第 十 六 十 十 十 十 十 七 号 第 十 六 十 十 十 十 十 八 号 第 十 六 十 十 十 十 十 九 号 第 十 七 十 十 十 十 十 号 第 十 七 十 十 十 十 十 一 号 第 十 七 十 十 十 十 十 二 号 第 十 七 十 十 十 十 十 三 号 第 十 七 十 十 十 十 十 四 号 第 十 七 十 十 十 十 十 五 号 第 十 七 十 十 十 十 十 六 号 第 十 七 十 十 十 十 十 七 号 第 十 七 十 十 十 十 十 八 号 第 十 七 十 十 十 十 十 九 号 第 十 八 十 十 十 十 十 号 第 十 八 十 十 十 十 十 一 号 第 十 八 十 十 十 十 十 二 号 第 十 八 十 十 十 十 十 三 号 第 十 八 十 十 十 十 十 四 号 第 十 八 十 十 十 十 十 五 号 第 十 八 十 十 十 十 十 六 号 第 十 八 十 十 十 十 十 七 号 第 十 八 十 十 十 十 十 八 号 第 十 八 十 十 十 十 十 九 号 第 十 九 十 十 十 十 十 号 第 十 九 十 十 十 十 十 一 号 第 十 九 十 十 十 十 十 二 号 第 十 九 十 十 十 十 十 三 号 第 十 九 十 十 十 十 十 四 号 第 十 九 十 十 十 十 十 五 号 第 十 九 十 十 十 十 十 六 号 第 十 九 十 十 十 十 十 七 号 第 十 九 十 十 十 十 十 八 号 第 十 九 十 十 十 十 十 九 号 第 十 十 十 十 十 十 十 号 第 十 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 十 十 十 十 十 十 九 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 一 十 十 十 十 十 十 十 九 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 二 十 十 十 十 十 十 十 十 九 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 三 十 十 十 十 十 十 十 十 十 九 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 四 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 九 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 一 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 二 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 三 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 四 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 五 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 六 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 七 号 第 十 五 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 十 八 号 第 十 五



# 文部省法令年纂

全 30 巻・別巻 1 [大空社 1993-95]

## 全巻揃残部 1 組

\* 配本分売応ご相談

■〈文部大臣官房文書課編、大正 13 年版 - 昭和 17 年版〉。教育法令約 1450 項目を条文のままに見られる。 〈全 4 回配本〉 定価 501,942 円 (本体 456,311 円 + 税)

## 南洋群島 国語読本

全 8 巻 宮脇弘幸監修・解説 [大空社 2006.10] ★残部数組

定価 108,900 円 (本体 99,000 円 + 税)

■現地人児童生徒用に編纂・使用された教科書を復刻〈第一次～四次、大正 6- 昭和 12〉。芦田恵之助・岩崎俊春・梅津隼人らが編纂。

## 南洋群島 国語読本 補遺

全 1 巻 前田均・解説 [大空社 2012.2]

定価 15,400 円 (本体 14,000 円 + 税)

■「第四次 公学校国語読本教授書」〈梅津隼人、昭和 12〉。

## 近代婦人雑誌目次総覧

全 15 巻 近代女性文化史研究会編 [大空社 1985-86] A5 判 定価 242,000 円 (本体 220,000 円)

■女学新誌・女鑑・家庭雑誌・婦人衛生雑誌・女学世界・女子教育・女子青年…明治～昭和 20 年までに発行された婦人関係雑誌の中から研究に必要とされるものを厳選し、原則として創刊～終刊までの目次を原誌のまま収録。解題発行年月日、著者名索引、各誌所蔵調査一覧など収録。付・婦人関係主要雑誌年表 (明治～昭和前期)。

1 期 5 巻 (1-5 巻) [1985.4] 4-87236-008-7 定価 77,000 円 (本体 70,000 円)

1. 女学新誌 (明治 17.6-18.9) / 日本乃女学 (明治 20.8-22.12) / 貴女之友 (明治 20.9-25.2) / 婦女雑誌 (明治 24.1-27.12) 2. 女鑑 (明治 24.8-42.3) 3. 女子之友 (明治 30.6-39.5) / をんな→なでしこ→大和なでしこ (明治 34.1-45.7) 4. 家庭雑誌 (明治 25.9-31.8) / 日本之家庭 (明治 28.12-32.2) / 家庭教育 (明治 32.3-32.10) / 日本廻家庭 (明治 33.1-33.2) / 淑女 (明治 32.1-34.10) 5. 婦人衛生会雑誌→婦人衛生雑誌 (明治 21.2- 大正 15.12)

2 期 5 巻 (6-10 巻) [1985.10] 4-87236-009-5 定価 82,500 円 (本体 75,000 円)

6. 女学世界 (明治 34.1- 大正 1.12) 7. 女学世界 (大正 2.1-14.6) 8. 婦人界 (明治 35.7-37.12) / ムラサキ (明治 38.7-44.6) / 婦人くらぶ (明治 41.10-45.4) / 女子教育 (明治 37.1- 大正 6.10) 9. 婦人世界 (明治 39.1- 大正 13.12) 10. 婦人世界 (大正 14.1- 昭和 8.5)

3 期 5 巻 (11-15 巻) [1986.04] 4-87236-010-9 定価 82,500 円 (本体 75,000 円)

11. 婦人週報 (大正 4.11-8.7) / 女性改造 (大正 11.10-13.11) / 婦人界 (大正 6.9-11.11) 12. 婦人問題 (大正 7.10-9.3) / 女性日本人 (大正 9.9-12.9) / 女性同盟 (大正 9.10-11.12) / 婦選 (昭和 2.1-10.12) 13. 職業婦人→婦人と労働→婦人運動 (大正 12.6- 昭和 16.8) 14. 家庭 (昭和 6.6-16.8) / 日本婦人 (昭和 17.11-20.1) 15. 小学校女教員→かぶやき→教育女性 (大正 14.10- 昭和 18.12) / 附・処女の友 (大正 7.11- 昭和 16.1) / 附・女子青年 (昭和 14.5-16.9)

## 日本の婦人雑誌

全 50 冊・別巻 1 中島邦監修 [大空社 1986.10] 4-87236-022-2 定価 143,000 円 (本体 130,000 円)

■明治期に創刊された 150 余誌を超える婦人雑誌から、その果たした役割・史的意義が顕著な雑誌 50 誌を厳選、「原本に準じて」複製。刊行・編集者の意図、情熱、精神や当時の社会思潮・文化などを実感する恰好の資料。女学新誌、女学雑誌、女学叢誌、日本之女学、婦人教会雑誌、婦人衛生会雑誌、東京婦人矯風会雑誌、婦人教育雑誌、日本新婦人、文明の母、大日本婦人教育会雑誌、婦女雑誌、女学世界、婦人界、家庭雑誌、婦人之友、婦人くらぶ、新女界、婦女界、青鞜・・・

## 『婦人週報』20 世紀女性研究の夜明け

全 7 巻・別巻 1 [大空社 1994-95] B5 判 978-4-283-01328-5

定価 151,654 円 (本体 137,864 円)

■小橋三四子編集発行 (大正 4.11-8.7)。『婦人週報』は大正デモクラシーの時代に女性の幸福と進歩を考え続けた週刊研究雑誌。女性が編集兼発行人となった初めての雑誌でもある。

1 期 5 巻 (1-5 巻) 4-87236-862-2 定価 103,593 円 (本体 94,175 円)

2 期 2 巻 (6-7 巻)・別巻 4-87236-863-0 定価 48,058 円 (本体 43,689 円)

## 婦人の世紀

全 4 巻・別巻 1 中島邦解説 [大空社 1995.12] 4-7568-0112-9 定価 69,418 円 (本体 63,107 円) ★残部 1 組

■内山基編集 (昭和 22.2-25.6) 戦後の混乱期、女性の自立と生き方を真に問いかけ、婦人の解放、地位向上などさまざまな問題を第一線の知識人がテーマ別に論じた総合雑誌。

## 婦人雑誌の夜明け

〈新装普及版〉近代女性文化史研究会編 [大空社 2016.2/ 初版 1989.9] A5 判 978-4-283-01324-7

定価 3,850 円 (本体 3,500 円)

■女性ジャーナリズムの原点に迫る、黎明期の婦人雑誌は近代日本の女性たちに何を与えたか…。

(内容抄) 明治婦人雑誌の軌跡、婦人団体機関誌の誕生 (婦人衛生会雑誌、東京婦人矯風雑誌)、明治の仏教系婦人雑誌 (婦人教会雑誌、婦人世界、法の母)、『裏錦』とギリシア正教の盛衰：日露戦争期を中心に、婦人雑誌にみる日露戦争 (女学世界、婦人界)、明治前期の婦人改良論 (中山整爾)、巖本善治を助けた人 (桜井鷗村)、明治母の会と羽仁もと子 (家庭之友家計簿)、婦人ジャーナリスト小橋三四子 (婦人週報)

## 大正期の女性雑誌〈新装普及版〉近代女性文化史研究会編 [大空社 2016.2/初版 1996.8] A5判 978-4-283-01322-3

定価 3,850 円 (本体 3,500 円)

■大正期に写し出された社会の状況と比べ、今、どれほどの変化が見られるか…。

(内容抄) [婦人雑誌の諸相] 働く女の機関誌、身の上相談、産児調節運動、「婦人週報」 [『青鞥』にかかわった人々] 生田長江、木内錠、平井(神崎)恒、斎賀琴(原田琴子) [教育にかかわった人々] 実業家・広岡浅子(日本女子大学)、大正新教育運動の一形態(中村春二、成蹊女学校)、大正期における社会教育の一形態(後藤静香、希望社)

## 日本近代女子高等教育史考 いま女子教育を問う 山田昇著 [大空社 1999.3] A5判

4-283-40001-7 定価 4,400 円 (本体 4,000 円)

■一歩一歩切り開かれた女子教育の歴史を基礎資料で展望。未刊の翻訳書・宮崎駿児訳「我耳東氏女子教育論」の意義、巖本善治の女学論・廃娼論、福島四郎、女子師範大学設置運動、国立女子大学創設に関する考察、など。

## 文部省教育統計・調査資料集成 全47巻 佐々木享監修 [大空社 1987-90] A5/B5判

■師範学校、中学校、高等女学校、実科高等女学校、実業学校の詳細なデータ 教育・学校制度や政策史の具体的実態把握に不可欠で利用度が高い「統計・調査資料」の集成。「これら調査報告は、全国統計はもとより、『文部省年報』では求め得ない個々の学校についての詳細かつ豊富なふくんでいる点に特徴がある。(監修のことばより)」たとえばこんな詳細情報が…「名称・学校長・位置・設置開校など沿革概要、生徒定員・生徒数、学級数、入学状況、入学志願者入学者の入学前学歴、入学者の体力、入学後の学力・操行、前年度卒業者の進路・体格・学力・操行、前年度半途退学者の事由別内訳、学科目に関する調査、教員に関する諸調査、附属小学校・附属幼稚園に関する調査、等々。

I期 9巻 師範学校編「全国師範学校ニ関スル諸調査」明治40.9-昭和15.4 4-87236-032-X 定価 143,000 円 (本体 130,000 円)

II期 12巻 中学校編「全国中学校ニ関スル諸調査」明治37.3-昭和15.10 4-87236-039-7 定価 154,000 円 (本体 140,000 円)

III期 11巻 実業学校編「全国実業学校ニ関スル諸調査」明治40.3-昭和15.10 4-87236-062-1 定価 160,194 円 (本体 145,631 円)

IV期 9巻 高等女学校・実科高等女学校編「全国高等女学校・実科高等女学校ニ関スル諸調査」明治35.6-大正15.10 【品切】

V期 6巻 高等女学校・実科高等女学校編「全国高等女学校・実科高等女学校ニ関スル諸調査」昭和2.10-15.10

4-87236-126-1 定価 101,456 円 (本体 92,233 円)

## 文部省学習指導書 全28巻 中村紀久二監修 [大空社 1991.8] A5/B5判 4-87236-177-6

■小学校・中学校の指導書全75冊(昭和24-49)を教科別に収録。

1. 一般学習指導法編 4-283-00422-7 定価 10,679 円 (本体 9,708 円) ★残部1冊

2-4. 国語編 4-283-00423-5 定価 26,699 円 (本体 24,272 円) ★残部1組

5,6. 社会編 4-283-00424-3 定価 17,087 円 (本体 15,534 円) 7,8. 算数(数学)編 4-283-00425-1 定価 10,679 円 (本体 9,708 円)

9-13. 理科編 4-283-00426-X 定価 40,582 円 (本体 36,893 円) 14-17. 音楽編 4-283-00427-8 定価 33,107 円 (本体 30,097 円)

18-20. 図画工作(美術)編 4-283-00428-6 定価 18,156 円 (本体 16,505 円)

21,22. 体育(保健体育)編 4-283-00429-4 定価 20,292 円 (本体 18,447 円)

23-25. 家庭(職業・技術家庭)編 4-283-00430-8 定価 21,359 円 (本体 19,417 円)

26. 外国語編 4-283-00431-6 定価 6,408 円 (本体 5,825 円)

27. 道徳編 4-283-00432-4 【品切】 28. 特別教育活動・学校行事等編 4-283-00433-2 ★残部1冊

## 小学校 全44巻・別巻1 寺崎昌男監修/小熊伸一解説 [大空社 1992-95] B5判

定価 630,098 円 (本体 572,816 円)

■〈同文館、明治39.4-大正1.9〉。教育の理論と実践を結びつけ、教育界にセンセーションを巻き起こし、教育の改善と普及に大きく貢献したベストセラー誌、明治期の全冊を複製。

1回 10巻(1-10巻:1巻1号-5巻6号〈明治39.4-41.6〉) 4-87236-229-2 定価 144,175 円 (本体 131,068 円)

2回 10巻(11-20巻:5巻7号-7巻12号〈明治41.7-42.9〉) 4-87236-230-6 定価 144,175 円 (本体 131,068 円)

3回 8巻(21-28巻:8巻1号-9巻12号〈明治42.10-43.9〉) 4-87236-231-4 定価 117,476 円 (本体 106,796 円)

4回 8巻(29-36巻:10巻1号-11巻12号〈明治43.10-44.9〉) 4-87236-232-2 定価 106,796 円 (本体 97,087 円)

5回 8巻(37-44巻:12巻1号-13巻14号〈明治44.10-大正元.9〉)・別巻(解説・総目次・著者名索引) 4-87236-233-0

定価 117,476 円 (本体 106,796 円)

## 国民学校国語読本 全12冊 [大空社 2001.10] A5判 4-7568-0998-7 定価 20,744 円 (本体 18,858 円)

■「ヨミカタ」「よみかた」「初等科国語」〈昭和16-18〉。戦時下教育を証言。カラー完全複製。

ヨミカタ一・二(1年前・後期用・昭和16〜) / よみかた三・四(2年前・後期用・昭和16〜) / 初等科国語一・二(3年前・後期用・昭和17〜) / 初等科国語三・四(4年前・後期用・昭和17〜) / 初等科国語五・六(5年前・後期用・昭和18〜) / 初等科国語七・八(6年前・後期用・昭和18〜)

## 児童 全21巻・別巻1 波多野完治・細谷俊夫監修/西村誠解説 [大空社 1988-89] A5判 定価 290,400 円 (本体 264,000 円)

■〈刀江書院、昭和9.6-15.12〉。比類ない先駆性。児童理解のための社会的な総合雑誌。今日の子どもの観の原点をみる。 ★残部1組

1回 8巻(1-8巻) 4-87236-047-8 定価 108,900 円 (本体 99,000 円)

2回 9巻(9-17巻) 4-87236-048-6 定価 99,000 円 (本体 90,000 円) 3回 4巻(18-21巻)・別巻 4-87236-049-4 定価 82,500 円 (本体 75,000 円)

〈商品の状態について〉刊行年が古いものは、本文の読書に支障はないものの、経年による劣化(小口のしみ、表紙クロスの焼け等)が見られるものがあります。最善の状態での出荷を心がけますが、新品と言いかねる場合もありますので、ご注文の際にはご承知おきのほどお願いいたします。

**国語教育** 全33巻・別巻1 石井庄司・倉澤栄吉監修/石井・倉澤・桑原隆ほか解説 [大空社1993-95] B5判  
定価 630,097円 (本体 572,815円)

■〈育英書院、大正5.1-15.12〉。保科孝一を主幹とする本邦初の国語教育専門誌。

★**残部数組**

- 1回 9巻 (1-9巻:大正5.1-7.12) 4-87236-849-5 定価 160,194円 (本体 145,631円)
- 2回 9巻 (10-18巻:大正8.1-10.12) 4-87236-921-1 定価 160,194円 (本体 145,631円)
- 3回 9巻 (19-27巻:大正11.1-13.12) 4-7568-0001-7 定価 160,194円 (本体 145,631円)
- 4回 6巻 (28-33巻:大正14.1-15.12)・別巻(解説・総目次・著者名索引) 4-7568-0113-7 定価 135,923円 (本体 135,922円)

**教育・国語教育** 全36巻・別巻1 滑川道夫・野地潤家監修/川口幸宏・太郎良信・中島和美解説 [大空社1987-88] A5判  
87236-083-4 定価 638,000円 (本体 580,000円)

■〈厚生閣、昭和6.4-15.3〉。戦前の国語教育雑誌では出色の内容。教育全般から社会問題まで幅広い誌面、現場教師の息遣いが溢れる。生活綴方教育運動の研究資料の宝庫。

★**残部数組**

- 1回 19巻 (昭和6.4-10.12) 4-87236-063-X 定価 319,000円 (本体 290,000円)
- 2回 17巻 (昭和11.1-15.3)・別巻(解説・総目次・著者名索引) 4-87236-064-8 定価 319,000円 (本体 290,000円)

**同志同行** 全35巻・別巻1 石井庄司・野地潤家監修/石井・野地・青山廣志解説 [大空社1989] A5判  
定価 384,465円 (本体 349,514円) ★**残部数組**

■芦田恵之助(1873-1951)主宰〈同志同行社、昭和5.1-30.1〉。国語教育実践の最高峰・芦田と全国各地域で実践にうちこむ同志との交流の場。「全生活を教育と観ずる者を同志といひ、教壇を熱愛するものを同行といふ」。

- 1期 18巻 (1-18巻:昭和5.1-12.7) 4-87236-063-X 定価 192,233円 (本体 174,757円)
- 2期 17巻 (19-35巻:昭和12.8-30.1)・別巻(解説・総目次・著者名索引) 4-87236-064-8 定価 192,233円 (本体 174,757円)

**実演お話し集** 全9巻 石井庄司・滑川道夫解説 [大空社1989.10] A5判 4-87236-082-6 定価 83,600円 (本体 76,000円)

■〈大塚講話会、大正10-15〉。東京高等師範学校大塚講話会は1915・大正4年創設、教育者を志す学生が、児童・青少年に対して語るお話の仕方、話材などを研究し、また創造・実演して、全国の学校を巡回した。音声言語の重要性が叫ばれて久しい。話しことば研究の資料としても見直されるべき資料。 ★**残部1組**

**大学における教員養成** 国立大学協会教員養成制度特別委員会報告書 全3巻・別冊1  
山田昇監修・解説 [大空社1998.10] 4-7568-0841-7 定価 40,700円 (本体 37,000円)

■1972-97年までの委員会調査報告研究成果。別冊「国立大学協会教員養成制度特別委員会小史」。B5判各450頁

**大学及大学生** 全9巻・別巻1 田中征男解説 [大空社1989] A5判 定価 118,544円 (本体 107,767円)

■〈進文館、大正6.11-8.5〉。「大学は、真理の討究と文化の向上と英俊の育成とを以て、その存立の第一義とす」。高等教育の政策や問題が大きく展開した時代に、錚々たる識者が批判・論述・解説を展開。

- 1回 7巻 4-87236-065-6 定価 85,437円 (本体 77,670円)
- 2回 2巻・別巻 4-87236-066-4 定価 33,107円 (本体 30,097円)

**女鑑** 全71巻・別巻1 中島邦監修・解説 [大空社1989-93] A5判 定価 945,150円 (本体 859,227円)

■近代女性史研究の必備文献。2000人以上の明治を代表する教育者、文学者などの知識人執筆。伝統的女性観を知るための好史料。近代黎明期の女性を語る婦人総合雑誌全356冊。

- 1回 9巻 (1-9巻:1-53号〈明治24.8-26.12〉) 4-87236-069-9 定価 105,729円 (本体 96,117円)
- 2回 8巻 (10-17巻:54-100号〈明治27.1-28.12〉) 4-87236-070-2 定価 105,729円 (本体 96,117円)
- 3回 8巻 (18-25巻:101-147号〈明治29.1-30.12〉) 4-87236-071-0 定価 104,661円 (本体 95,146円)
- 4回 8巻 (26-33巻:148-195号〈明治31.1-32.12〉) 4-87236-072-9 定価 104,661円 (本体 95,146円)
- 5回 8巻 (34-41巻:196-243号〈明治33.1-34.12〉) 4-87236-073-7 定価 104,661円 (本体 95,146円)
- 6回 9巻 (42-50巻:244-13年24号〈明治35.1-36.12〉) 4-87236-074-5 定価 105,729円 (本体 96,117円)
- 7回 8巻 (51-58巻:14年1号-15年12号〈明治37.1-38.12〉) 4-87236-075-3 定価 105,729円 (本体 96,117円)
- 8回 8巻 (59-66巻:16年1号-17年12号〈明治39.1-40.12〉) 4-87236-076-1 定価 104,661円 (本体 95,146円)
- 9回 5巻 (67-71巻:18年1号-19年3号〈明治41.1-42.3〉)・別巻 4-87236-077-X 定価 103,593円 (本体 94,175円)

**全巻揃残部1組**  
\*配本分売店ご相談

**家政学・生活学研究基礎文献集** 全11巻 亀高京子・石川寛子監修 [大空社1988.6] A5判 4-87236-040-0  
定価 106,700円 (本体 97,000円)

■家政学・生活学とはどのような学問か、どうあるべきか。学問として誕生する時期のテーマと論点を押さえる必須文献集。

★**残部数組**

- 1. 家事応用理化学〈石澤吉麿、大正12〉 2. 家庭物理学十二講〈近藤耕蔵、大正14〉 3. 応用家事精義〈大江スミ子、大正5〉 4. 生活問題〈森本厚吉、大正8〉 5. 国民生活費の研究〈安藤政吉、昭和19〉 6. 改訂 栄養と食物〈澤村真、昭和4〉 7. 家族の研究〈戸田貞三、大正15〉 8. 育ての心〈倉橋惣三、昭和15〉 9. 家事生活概論〈菅原教造、昭和14〉 / 新家政学〈大熊信行、昭和18〉 10. 日本家政学〈倉澤剛、昭和19〉 11. 家政学原論〈中原賢次、昭和23〉

**心と社会のメンタルヘルス** 明るく豊かな学校・家庭・社会のために 全13巻・別巻1 ★**残部1組**  
日本精神衛生会監修 [大空社2001] A5判 4-283-00193-7 定価 132,000円 (本体 120,000円)

■「心と社会」の特集記事を中心に再編集。現代社会がかかえるもっとも深刻な問題に総合的にアプローチ。ストレス/宗教/こころとからだ/生きる死ぬ/青少年/いじめ/高齢者/精神保健/医療…。

**精神衛生** 全9巻 秋元波留夫解説 [大空社 1996] B5判 4-7568-0304-0 定価 90,776円 (本体 82,524円) ★**残部数組**

■〈日本精神衛生協会、昭和6-16〉〈日本精神衛生会、会報、昭和27-44〉。メンタルヘルスの歴史と展開を知る唯一の精神衛生誌(「心と社会」の前誌)。

**放送ニュース解説・国策放送** 全7巻・別巻1 竹山昭子解説 [大空社 1990.7] A5判 定価 118,800円 (本体 108,000円)

■〈日本放送協会、昭和12.10-18.12〉。戦時体制下のラジオニュースを記録した唯一の雑誌。

★**残部数組**

1回 4巻「放送ニュース解説」1-114号〈昭和12.10-16.3〉4-87236-094-X 定価 69,300円 (本体 63,000円)

2回 3巻「国策放送」1巻1号-3巻12号〈昭和16.4-18.12〉・別巻 4-87236-095-8 定価 49,500円 (本体 45,000円)

**放送関係雑誌目次総覧** 全2巻 吉田裕監修/竹山昭子解説 [大空社 1992.1] A5判 4-87236-208-X 定価 36,311円 (本体 33,010円) ★**残部数組**

■大正15創刊「調査時報」から昭和18.4「放送」など、戦前から終戦直後発行の12誌(日本放送協会)683冊。

(収録誌) 調査時報→調査月報→調査時報→放送/放送研究(大正15.1~昭和18.12)/放送人(昭和19.12)/放送調査資料(昭和13.6~昭和16.12)/ラヂオ講演・講座(昭和12.5~昭和16.9)/放送(昭和16.10~昭和21.11)/放送ニュース解説(昭和12.10~昭和16.3)/国策放送(昭和16.4~昭和18.12)/学校放送研究(昭和14.11~昭和18.4)

**戦前・戦中のタイにおける日本語普及と諜報工作** チェンマイ日本語学校とインパール作戦

山口雅代著 [大空社 2016.7] B5判 978-4-283-01340-7 定価 4,400円 (本体 4,000円)

■タイにおける日本軍の日本語教育への関与、諜報工作との関係や、どのような目的のもと日本語教育が行われたのかを示した歴史的研究。チェンマイ日本語学校と日本軍について取り上げた初の書。

**時事通信 占領期世論調査** 全10巻 吉田裕・川島高峰監修/川島高峰解説 [大空社 1994.4] B5判 4-87236-900-9 定価 117,476円 (本体 106,796円) ★**残部数組**

■〈時事通信社、1946-1950〉。占領期、時事通信社が全国規模で行った稀有の調査。占領期の社会、国民の生活意識を知るために不可欠な第一級資料。

1.食糧危機突破に関する世論調査(昭和21)他 2.統制に関する世論調査(昭和22)他 3.資料 衆議院議員選挙(昭和22)他 4.新聞に関する世論調査(昭和22)他 5.所得税予定申告納税制度に関する世論調査(昭和22)他 6.内閣支持について(昭和23)他 7.内閣の経済政策に対する態度(英文報告書)(昭和23)他 8.電話に関する調査(普及について)(昭和24)他 9.喫煙の習慣と嗜好について(昭和24)他 10.「時事世論」第1号(昭和22)他

**我国における教育委員会制度の研究** 尾形裕康監修/長田三男・尾形利雄著

〈民主主義研究会、昭和37〉[大空社 1986.1] A5判 4-87236-005-2 定価 5,500円 (本体 5,000円)

■(内容)アメリカ教育使節団報告書と教育委員会制度、教育委員会制度実施の経緯、地方教育委員会の実情、教育委員会制度改革論の動向、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律案」をめぐる論議と同法案の成立、教育委員会制度年表。

**読書世論調査 1947-1970 + 学校読書調査 1955-1970** 全6巻 [大空社 1997.12] A5/B5判 4-7568-0704-6 定価 104,500円 (本体 95,000円) ★**残部1組**

■〈毎日新聞社、1948-70〉。長期にわたる比類なき蓄積、年次報告書を集成。1954年開始「学校読書調査」併録。ベストセラー・読書時間推移などデータ満載。

1.1947年度調査・どんな本が読まれるか 第1回出版世論調査に見る(昭和23)/1949年度調査・読書世論調査 第3回(昭和24)/1950年度調査・何が読まれているか 第4回読書世論調査(昭和25) 2.1951年度調査・第5回読書世論調査(昭和26)/1952年度調査・第6回(昭和28)/1953年度調査・第7回(昭和29)/1954年度調査・第8回(昭和30) 3.1955年度調査・第9回読書世論調査(昭和30)/何をどのように読んでいるか 小・中・高読書調査(昭和30)/1956年度調査・第10回読書世論調査、第3回学校読書調査(昭和32)/1957年度調査・第11回読書世論調査、第4回学校読書調査(昭和33) 4.1958, 59, 60年度調査・第12, 13, 14回読書世論調査、第5, 6, 7回学校読書調査(昭和34, 35, 36) 5.「読書世論調査」によるベスト・セラーズの動向(昭和36)/1961年度調査・第15回読書世論調査、第8回学校読書調査(昭和37)/1962年度調査・第15回読書世論調査(昭和38)/1963年度調査・第17回読書世論調査/第9回学校読書調査(昭和39) 6.1964, 65年度調査・第18, 19回読書世論調査/第10, 11回学校読書調査(昭和40, 41)/1970年度版(66-69年度調査) 第20~23回読書世論調査/第12~15回学校読書調査(昭和45)

**時間貧困からの脱却にむけたタイムユースリテラシー教育** ESCAP地域の人間開発新戦略

中山節子著 [大空社 2014.2] A4判 236頁 978-4-283-00650-8 定価 6,181円 (本体 5,619円)

■ESCAP地域の生活行動分析を社会・労働・経済から広く文化・ジェンダー・教育研究等に有効な方法として提起する、生活時間研究の新しい成果。自己の時間使用のあり方を再考し新しい生活を創造する契機を生み出すための実践的な書。

**鳩が飛び立つ日「石井筆子」読本** 男女共同参画と特別支援教育・福祉の母 津曲裕次著 [大空社 2016.3]

B5判 978-4-283-01325-4 定価 2,860円 (本体 2,600円)

■中学校道徳科教材や高校日本史教科書に取り上げられた先駆者(1861~1944)の、近年まで広く知られなかった生涯が、第一人者により、時代と重要人物のつながりの中に鮮やかに浮かび上がる。

**知的障害者教育・福祉の歩み 滝乃川学園百二十年史** 全2巻 滝乃川学園・津曲裕次監修編集 [大空社 2011.12]

B5判 1850頁 978-4-283-00700-0 定価 52,800円 (本体 48,000円)

■本邦初の知的障害者施設、一民間施設の120年に及ぶ実践の歴史を、残された貴重記録を最大限に活かし、学園の乗り越えてきた苦難と問題を激動の日本近代史の中に明瞭に位置づける。

# 日本教育史基本文献・史料叢書

全63巻

監修 寺崎昌男・久木幸男

- 特色■
- ①日本教育史の研究に必要不可欠な文献を精選。
  - ②復刻を主とし、新編集で初めてまとめたものもある。
  - ③各巻に専門研究者の解説収録

● (体裁) A5判・上製・クロス装

\*各巻  
分売可

巻	(内容)	ISBN	定価 (本体+税10%)	本体価格
<b>第1期</b> 8巻 (1-18巻) [1991年4月刊]		4-283-00340-9	<b>106,796円</b>	97,087円
1	日本教育史 文部省(白石正邦):弘道館(明治43)〔解説:齊藤太郎〕300頁	4-87236-601-8	<b>7,262円</b>	6,602円
2	全国附属小学校の新研究 金港堂編集部:金港堂(明治43)〔解説:藤枝静正〕1170頁	4-87236-602-6	<b>26,699円</b>	24,272円
3	日本教育思想史 安達久:モナス(昭和5)〔解説:江森一郎〕630頁	4-87236-603-4	<b>12,815円</b>	11,650円
4	国民道徳ニ関スル講演 文部省編(穂積八束・吉田熊次):文部省(明治44)〔解説:森川輝紀〕210頁	4-87236-604-2	<b>5,339円</b>	4,854円
5	修身科講義録 東京府内務部学務課(穂積八束・井上哲次郎・吉田熊次):東京府学務課(明治44)〔解説:森川輝紀〕460頁	4-87236-605-0	<b>10,145円</b>	9,223円
6	全国学校沿革史 長坂金雄編:東都通信社(大正3)〔解説:神辺靖光〕1320頁	4-87236-606-9	<b>28,835円</b>	26,214円
7	思想善導論 大日本学術協会(武田勘治)編:モナス(昭和3)〔解説:久木幸男〕400頁	4-87236-607-7	<b>9,292円</b>	8,447円
8	大学今昔譚 三宅雪嶺:我観社(昭和21)〔解説:中野実〕340頁	4-87236-608-5	<b>6,408円</b>	5,825円
<b>第2期</b> 10巻 (9-18巻) [1992年2月刊]		4-283-00341-7	—	—
9	日本近世教育概覧 文部省総務局:文部省(明治20)〔解説:神辺靖光〕330頁		<b>8,544円</b>	7,767円
10	教育史余材 横山健堂:開発社(明治41)〔解説:石附実〕340頁	4-87236-610-7	<b>8,544円</b>	7,767円
11	大学々生溯源 全(上・下) ※下巻新組編集 <b>品切</b> 橋南漁郎:(上)日報社(明治43)〔解説:中野実〕410頁	4-87236-611-5	〈品切〉	—
12	石上宅嗣卿 石上宅嗣卿顕彰会:石上宅嗣卿顕彰会(昭和5)〔解説:鈴木理恵〕180頁	4-87236-612-3	<b>4,271円</b>	3,883円
13	大学の運命と使命 <b>品切</b> 帝国大学新聞社編集部:帝国大学新聞社(昭和5)〔解説:寺崎昌男〕370頁	4-87236-613-1	—	—
14	近世学校教育の源流 <b>品切</b> 高橋俊乗:永沢金港堂(昭和18)〔解説:竹内明〕660頁	4-87236-614-X	〈品切〉	—
15	日本に於ける耶蘇会の学校制度 シリング著・岡本良知訳:東洋堂(昭和18)〔解説:梶村光郎〕300頁	4-87236-615-8	<b>7,476円</b>	6,796円
16	女子教育特輯 野間教育研究所紀要第1輯 土屋忠雄ほか:野間教育研究所・講談社(昭和22)〔解説:水野真知子〕300頁	4-87236-616-6	<b>7,476円</b>	6,796円
17	金沢文庫の研究 <b>品切</b> 関靖:講談社(昭和26)〔解説:大戸安弘〕810頁	4-87236-617-4	〈品切〉	—
18	明治末期社会教育観の研究 野間教育研究所紀要第20輯 倉内史郎:野間教育研究所・講談社(昭和36)〔解説:蛭田道春〕210頁	4-87236-618-2	<b>5,339円</b>	4,854円

巻	(内容)	ISBN	定価 (本体+税10%)	本体価格
<b>第3期</b> 6巻 (19-24巻) [1993年3月刊]		4-283-00342-5	<b>70,486円</b>	64,078円
19	籠谷次郎日本教育史論集：明治期地方教育史の諸問題 ※新編集 籠谷次郎 380頁	4-87236-619-0	<b>10,680円</b>	9,709円
20	巽軒博士倫理的宗教論批評集 第1輯 秋山悟庵：金港堂（明治35）〔解説：関川悦雄〕410頁	4-87236-620-4	<b>11,748円</b>	10,680円
21	満日本教育史（上・下） 加藤仁平：建文館（昭和12・14）〔解説：久木幸男〕490頁	4-87236-621-2	<b>14,951円</b>	13,592円
22	寄宿舎と青年の教育 滝浦文弥：単純生活社（大正15）〔解説：斉藤利彦〕450頁	4-87236-622-0	<b>13,883円</b>	12,621円
23	学校改良論 寺田勇吉：南江堂（明治31）〔解説：寺崎昌男〕250頁	4-87236-623-9	<b>8,544円</b>	7,767円
24	学校観の史的研究 第2篇 野間教育研究所紀要第27集 寺崎昌男・佐藤秀夫・宮沢康人・山内太郎：野間教育研究所・講談社（昭和47）〔解説：寺崎昌男〕320頁	4-87236-624-7	<b>10,680円</b>	9,709円
<b>第4期</b> 8巻 (25-32巻) [1994年6月刊]		4-283-00343-3	<b>122,817円</b>	111,652円
25	明治教育思想史 藤原喜代蔵：富山房（明治42）〔解説：斉藤太郎〕780頁	4-87236-625-5	<b>20,292円</b>	18,447円
26	児童読物の研究 京都市小学校教員会研究部：京都市小学校教員会研究部（昭和2）〔解説：小熊伸一〕360頁	4-87236-626-3	<b>9,612円</b>	8,738円
27	高橋俊乗 日本教育史論纂 ※新編集 高橋俊乗〔解説：辻本雅史〕770頁	4-87236-627-1	<b>20,292円</b>	18,447円
28	教育史料雑考 三浦藤作編著：帝国教育会（昭和7）〔解説：石附実〕660頁	4-87236-628-X	<b>18,156円</b>	16,505円
29	財団法人大日本婦人教育会五十周年記録 大日本婦人教育会：大日本婦人教育会（昭和11）〔解説：小山静子〕570頁	4-87236-629-8	<b>16,019円</b>	14,563円
30	明治少年文化史話 木村小舟：童話春秋社（昭和24）〔解説：田嶋一・狩野浩二〕410頁	4-87236-630-1	<b>11,748円</b>	10,680円
31	教育史（日本現代史大系） 宮原誠一：東洋経済新報社（昭和38）〔解説：尾崎ムゲン〕420頁	4-87236-631-X	<b>11,748円</b>	10,680円
32	近世豪農の学問と思想 柴田一：新生社（昭和41）〔解説：川村肇〕550頁	4-87236-632-8	<b>14,951円</b>	13,592円
<b>第5期</b> 6巻 (33-38巻) [1996年3月刊]		4-283-00344-1	<b>80,099円</b>	72,817円
33	教科書国定化問題論纂 ※新編集 ①教育界の厄はらい 菊池勉：松邑三松堂、明治36②教科書国定ニ就テ 文部省官房編・発行、明治36③欧羅巴各国ニ於ケル教科書制度ノ調査 附我国ノ教科書制度ヲ論ズ 山田禎三郎著・発行、明治36④国定教科書に関する沢柳普通学務局長の演説 文部省普通学務局編・発行、明治38〔解説：梶山雅史〕380頁	4-87236-633-6	<b>11,748円</b>	10,680円
34	赤門生活 南北社編・発行（大正2）〔解説：中野実〕340頁	4-87236-634-4	<b>10,680円</b>	9,709円
35	増補王朝教育史資料 ※新編集 春山作樹編：長崎書店（昭和5）〔解説・原本訓読：久木幸男〕250頁	4-87236-635-2	<b>10,680円</b>	9,709円
36	小学校教授法沿革史 佐々木清之丞：厚生閣書店（昭和5）〔解説：鈴木そよ子〕390頁	4-87236-636-0	<b>11,748円</b>	10,680円
37	幼児保育史 <b>品切</b> 古木弘造：巖松堂書店（昭和24）〔解説：宍戸健夫〕190頁	4-87236-637-9	〈品切〉	—
38	日本児童文章史 西原慶一：東海出版社（昭和27）〔解説：太郎良信〕860頁	4-87236-638-7	<b>26,699円</b>	24,272円

〈商品の状態について〉刊行年が古いものは、本文の読書に支障はないものの、経年による劣化（小口のしみ、表紙クロスの焼け等）が見られるものがあります。最善の状態での出荷を心がけますが、新品と言いかねる場合もありますので、ご注文の際にはご承知おきのほどお願いいたします。

巻	(内容)	ISBN	定価 (本体+税10%)	本体価格
<b>第6期</b> 9巻(39-47巻)[1997年10月刊]		4-283-00345-X	<b>83,160円</b>	75,600円
39	京都府初等教育優良事蹟 第1篇 京都府第二部学務課(明治39)[解説:三原芳一] 410頁	4-87236-639-5	<b>12,870円</b>	11,700円
40	都府初等教育優良事蹟 第2篇 京都府内務部学務課(明治41)[解説:三原芳一] 260頁	4-87236-640-9	<b>8,250円</b>	7,500円
41	全国優良小学校実況 文部省:金港堂(明治42)[解説:笠間賢二] 470頁	4-87236-641-7	<b>13,200円</b>	12,000円
42	自治及修身教育批判 東京市政調査会(大正13)[解説:小川剛] 190頁	4-87236-642-5	<b>4,950円</b>	4,500円
43	近世教育史の諸問題 石川謙:文修堂書店(大正15)[解説:石川松太郎] 460頁	4-87236-643-3	<b>14,190円</b>	12,900円
44	育英十年 京都府師範学校附属小学校第二教室(昭和3)[解説:田中耕治] 210頁	4-87236-644-1	<b>6,050円</b>	5,500円
45	日本之儒教 日本儒教宣揚会:日本儒教宣揚会、昭和9)[解説:駒込武] 330頁	4-87236-645-X	<b>9,350円</b>	8,500円
46	小西信八先生存稿集 小西信八・小西信八先生存稿刊行会(昭和10)[解説:平田勝政] 280頁	4-87236-646-8	<b>8,250円</b>	7,500円
47	中等教育の革新 谷本富・谷本先生遺稿出版委員会(昭和37)[解説:斎藤利彦] 220頁	4-87236-647-6	<b>6,050円</b>	5,500円
<b>第7期</b> 6巻(48-53巻)[1998年3月刊]		4-283-00346-8	<b>71,500円</b>	65,000円
48	学生風紀問題 井田竹治(明治35)[解説:富岡勝] 190頁	4-87236-648-4	<b>5,500円</b>	5,000円
49	支育勅語衍義集成 峰間信吉:東京学友社(昭和12)[解説:岩本努] 480頁	4-87236-649-2	<b>15,400円</b>	14,000円
50	教育史研究 創刊号~第7号 教育史研究会(昭和30~34)[解説:森川輝紀] 480頁	4-87236-650-6	<b>15,400円</b>	14,000円
51	我国における千字文の教育史的研究 本編 尾形裕康:校倉書房(昭和41)[解説:石島庸男] 470頁	4-87236-651-4	<b>15,400円</b>	14,000円
52	我国における千字文の教育史的研究 図録編 尾形裕康:校倉書房(昭和41)[解説:石島庸男] 290頁	4-87236-652-2	<b>8,800円</b>	8,000円
53	私の聞書き帖 大西伍一:慶友社(昭和43)[解説:小林千枝子] 360頁	4-87236-653-0	<b>11,000円</b>	10,000円
<b>第8期</b> 10巻(54-63巻)[1998年11月刊]		4-283-00347-6	<b>102,300円</b>	93,000円
54	優良小学校之実際 上 教育実験界編纂部:育成会(明治42)[解説:笠間賢二] 350頁	4-87236-654-9	<b>11,000円</b>	10,000円
55	優良小学校之実際 下 教育実験界編纂部:育成会(明治42)[解説:笠間賢二] 430頁	4-87236-655-7	<b>13,200円</b>	12,000円
56	明治大正教育教授物語 教育週報社:モナス(昭和4)[解説:吉村敏之] 390頁	4-87236-656-5	<b>12,100円</b>	11,000円
57	聖堂略志 中山久四郎:斯分会(昭和10)[解説:橋本昭彦] 200頁	4-87236-657-3	<b>6,600円</b>	6,000円
58	明治以降裁縫教育史大要裁縫関係法令抄 渡辺学園(昭和15)[解説:桑田直子] 260頁	4-87236-658-1	<b>7,700円</b>	7,000円
59	日本日曜学校史 山本忠興:日曜世界社(昭和16)[解説:梶村光郎] 320頁	4-87236-659-X	<b>9,900円</b>	9,000円
60	漢学塾を中心とする江戸時代の教育 佐々木清之丞(昭和18)[解説:川村肇] 280頁	4-87236-660-3	<b>8,800円</b>	8,000円
61	新制大学への道 学徒図書組合文化部(昭和24)[解説:寺崎昌男] 200頁	4-87236-661-1	<b>6,600円</b>	6,000円
62	専門学校資料 上・下 文部省大学学術局技術教育課(昭和31)[解説:羽田貴史] 570頁	4-87236-662-X	<b>11,000円</b>	10,000円
63	教師の社会的地位 細谷恒夫:有斐閣(昭和31)[解説:若井弥一] 460頁	4-87236-663-8	<b>15,400円</b>	14,000円

女大学資料集成 全20巻・別巻1 石川松太郎監修/小泉吉永編 [大空社 2003-05] A5判 定価 302,500円 (本体 275,000円)

■近世から近現代に及ぶ260年の女大学関係基本史料を網羅。日本人の女性論の変遷と諸相を一望。

1回 8巻 (1-8巻) 4-283-00217-8 定価 110,000円 (本体 100,000円)

1. 和俗童子訓 (貝原益軒、宝永7/安永2) / 両葉支鑑 (貝原益軒、寛延3/江戸後期) 2. 女用智恵鑑 (柏原屋清右衛門、享保5) / 万宝 女用智恵鑑錦織 (柏原屋清右衛門、享保14) / 女用智恵鑑宝織 (柏原屋清右衛門、明和6) / 女訓抄 (江戸中期) 3. 女大学宝箱 (柏原屋清右衛門、享保元) / 女大学宝箱 (柏原屋清右衛門、文政12ほか) / 御家 宝訓女大学 (天保11頃) / 女子必読 女訓大学 (天保頃) / 女大学絵抄 (光盛合作丸、元治元) / 女大学 (昭和8) / 女大学 (山田浩通、昭和10) 4. 遊女大学教草 (西村定雅、文化4) / 新板重宝 続女大学 (渡辺其寧、天保5) / 教訓 新女大学要鑑 (白崎堯谷、慶応2) / 女大学見立番付 (江戸後期) / 女才学教草 (婦好亭、江戸後期) 5. 開化女小学 (西野古海、明治6) / 開化女大学 (小笠原長信、明治14) / 近世女大学 (土居光華、明治7) 6. 女鬢必読 女訓 (高田義甫、明治7) / 女学読本 (高田義甫、明治初) / 教諭糺種 (松川半山編、明治8) / 教訓糺種 女子修身之務 (加藤伴之、明治23) 7. 文明論女大学 (土居光華、明治9) / 修身女大学 (青木輔清、明治10) / 改正 女大学 (関葦雄、明治13) / 新撰増補 女大学 (萩原乙彦、明治13) 8. 新撰女大学 (西野古海、明治15) / 新選女大学 (佐久間舜一郎・松平直温、明治17) / 女学読本 (田中参編、明治19)

全巻揃残部1組  
\*分売不可

2回 8巻 (第9-16巻) 4-283-00218-6 定価 110,000円 (本体 100,000円)

9. 明治女大学 (花房庸夫、明治22) / 新編 女大学 (指原安三、明治29) 10. 新撰 女大学 (野中千代子ほか、明治30) / 最新女大学 (吉村秀蔵、明治34) / 商家娘大学 (中村松太郎編、明治38) 11. 明治女大学 (加藤弘之・中島徳蔵、明治39) 12. 折衷女大学 (奥栄太郎、明治40) / 西洋女大学 (フェネロン、明治45) 13. 女大学評論・新女大学 (福沢諭吉、明治33) / 標注 女大学 (小林雛子編、明治42) / 懐中 女大学 (鎌田智編、明治42) 14. 新評女大学 (戸川残花、明治43) / ポケット女大学 (服部北溟編、治43) / 女大学註解 (金沢仁作編、大正2) 15. 女大学の研究 (東亜協会研究部編、明治43) / 評釈女大学 (棚橋絢子、昭和13) 16. 新女子道 女大学通解 (内田節堂編、大正2) / 女大学註釈 (伊東与一、大正5)

3回 4巻 (第17-20巻) [2005] 4-283-00219-4 定価 55,000円 (本体 5,000円)

17. 女大学批評 (一條忠衛、大正7) / 女大学と女四書の批判 (井口愛泉、大正10) 18. 女大学新旧問答 (川谷致秀、大正14) / 新註 女大学 (平原北堂編、昭和18) 19. 新釈女大学 (河盛好蔵、昭和18) 20. 『女大学』批判 (中川善之助、昭和27) / 貝原益軒 女大学 (山根章弘訳、昭和46)

別巻 (研究論文/解説/資料補遺/関連年表/語彙分類索引) 4-283-00220-8 定価 27,500円 (本体 25,000円)

絵図集成 近世子どもの世界 全10巻 [大空社 1994-95] B5判 定価 213,591円 (本体 194,174円)

■近世子どもの教養世界を総覧する絵図6,300点。記事のすべてを翻刻、ほとんどが初公開。教育史・庶民文化・風俗研究に不可欠資料。近世の「子ども」の世界が絵図を通して具体的、立体的に見えてくる。

1回 5巻 (絵図編1-4巻・翻刻編1巻) 4-87236-930-0

[絵図編] 1. 子ども・手習い 2. 諸礼・芸能 3. 家庭・生活 4. 職業 [翻刻編] 1. (絵図編1-4.の翻刻)

2回 5巻 (絵図編5-8巻・翻刻編2巻) 4-87236-931-9

[絵図編] 5. 社会・信仰 6. 名所・旅行 7. 生物・中国風俗 8. 人物略伝 [翻刻編] 2. (絵図編5-8.の翻刻)

★残部数組

人々が読んだ・手にした・学んだ・楽しんだ その感覚に触れる“版本影印”大叢書  
歴大・豊富な宝の山『江戸時代庶民文庫』全100巻を縦横無尽に引く！

# 「江戸庶民」の生活を知る

『江戸時代庶民文庫』別巻「解題・索引」全2巻 (第1期)

解題 小泉吉永 (往来物研究家)

- 収録資料 350余点
- 総(影印)ページ約 39,000頁

『江戸時代庶民文庫』全100巻【完結】2022年5月

(第1期:第1~60巻)  
(第2期:第61~100巻)  
+  
別巻「解題・索引」2巻

\*各巻  
分売可

全巻取り揃え好評発売中！

★詳細資料進呈



別巻「江戸庶民」の生活を知る「解題・索引」[1-60巻] 660頁 (2016年12月刊) 978-4-908926-02-0 定価 30,800円 (本体 28,000円)

別巻「江戸庶民」の生活を知る2「解題・索引」[61-100巻] 614頁 (2022年5月刊) 978-4-908926-12-9 定価 30,800円 (本体 28,000円)

# 制度はいかに進化するか

## 技能形成の比較政治経済学

キャスリーン・セーレン 著 石原俊時・横山悦生 監訳  
東京大学大学院教授 名古屋産業大学教授

A5判・398頁・並製・カバー装  
ISBN 978-4-86688-253-2

・大空社出版 2022年3月刊

定価 3,850円  
(本体 3,500円+税 10%)



KATHLEEN THELEN  
*How Institutions Evolve: The Political Economy of Skills in Germany, Britain, the United States, and Japan*  
Cambridge University Press, 2004

現代アメリカを代表する政治学者（現在 MIT 教授）による主著、難解な原著の待望の翻訳。適宜原語を並記し、著者の意図を精確に汲み取ることに意を尽くしたていねいな翻訳。

詳細な参考文献・各種索引（引用文献著者・企業・団体／組織など）は研究に必須・有益

### 目次

#### 第1章 比較と歴史の視点から見る技能の政治経済

1. 技能と技能形成（技能についての経済学者の見解 / Becker を越えて / 政治学に戻って / 訓練における信頼関係を構築する問題 / 訓練における集的行為の問題）

2. 制度の生成と変化の諸理論 3. 制度の起源と進化

#### 第2章 ドイツにおける技能形成の進化について

1. ドイツにおける技能形成制度の進化における手工業経済の重要性

2. 機械および金属加工における大企業の戦略

3. 政治的同盟と制度の進化（1920年代における組織労働者の立場に関する論争 / 機械・金属加工業の立場 / 標準化の原動力）

4. 改革に敵対した政治的同盟（Dinta / 改革の失敗 / 立法による改革に代わるものとしての自発的な協力）

#### 第3章 イギリスでの技能形成の進化

1. 国家の政策とイギリス手工業者の運命

2. 金属加工業および機械工業における労使の戦略（第一次大戦前のイギリスの徒弟制度 / ロックアウト後の徒弟制度）

3. 第一次大戦前の改革の取り組み（大手金属加工業企業の戦略 / 徒弟制度に関する労働組合の戦略）

4. 戦争の影響とその後（第二次世界大戦直前のイギリスの訓練）

#### 第4章 日本とアメリカにおける技能形成の進化

1. 日本における技能形成の進化

2. 国家の役割と日本における手工業者の運命

3. 大手金属加工業の戦略 4. 日本における労務管理システムの進化

5. 日独比較 6. アメリカにおける技能形成の進化

7. 工業化初期における技能形成

8. 第一次世界大戦前の金属加工業における労働組合と使用者の戦略（ウィスコンシン・モデル / アメリカにおける企業内学校運動）

9. 第一次世界大戦期および戦後における訓練をめぐる政治

#### 第5章 ドイツにおける職業訓練システムの進化と変化

1. 国家社会主義下での職業訓練制度の進化（訓練と技能 / 職業訓練をめぐる政治 / 職業訓練のコントロールをめぐる政治的闘争 / 国家社会主義による職業訓練への影響）

2. 戦後ドイツにおける職業訓練（占領期 / 復興期 / 1969年の職業訓練法 / 1969年以後の発展）

3. ドイツの訓練システムの近年の展開：制度漂流を通じた衰退か？

#### 第6章 結論

1. 国際比較：多様な技能形成レジームの諸起源（政治的同盟と制度のさらなる進化 / 若者と徒弟制度）

2. 制度的補完性 3. 制度の進化と変化

参考文献 解説（石原俊時） あとがき（横山悦生）

索引 団体・組織・企業名省略記号一覧

◆本書の成立は、経済学におけるゲーム論などの興隆の政治学へのインパクトを背景としている。また、本書は経済学が対象としてきた制度（職業教育）をまさに問題として扱っている。それゆえ、理論的にも実証的にも、本書は、経済学と政治学の対話を促す大きな契機となり得ると思われる。一方、私を除く本書の訳者が教育学者であるように、そもそも職業教育は教育学における重要な研究領域である。本書がきっかけとなって、教育学研究にも何らかの刺激を与え、経済学・政治学の枠を越えた学際的研究の進展につながることを願っている。（訳者解説より）

#### ●書評●

（濱口桂一郎）「労働新聞」No. 3375（2022年11月7日）

（徳丸直穂）社会経済史学会『社会経済史学』Vol.89, No. 1（2023年5月）

学術資料出版

# 大空社出版

東京都北区中十条 4-3-2

(〒114-0032)

TEL:03-5963-4451

FAX:03-5963-4461

eigy@ozorasha.co.jp